

平成 26 年度 事業 報 告 書



社会福祉
法 人

安心創造ネットワーク

合志市社会福祉協議会

目 次

全体総括	1
実施事業一覧表	4
1 総務課	8
2 地域福祉課	1 3
3 こどもセンター	2 6
4 在宅支援課	3 8
5 訪問支援課	4 3
6 南ヶ丘福祉支援センター	4 5
7 障がい者支援センター	4 9
8 このみ坂保育園	5 8

全 体 総 括

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

合志市社会福祉協議会(以下「本会」という)の総体的運営及び経営状況は、地域福祉事業を柱とし、合志市からの受託事業、介護保険サービス及び障害者支援サービス等の直接処遇サービス、子ども・子育て支援及び保育園の運営、法人運営管理事業(ソーシャルアドミニストレーション)、指定管理事業等全 218 本の事業を地域福祉の手段的統合事業(本会が掲げる共通理念「やさしくて穏やかな福祉社会の創造」を達成するための手段としての統合した福祉事業)とし実施しました。

受託事業については、受託の中核的目的を達成しながらも、実施事業の多くに地域ボランティアの参加や一般市民向けの啓発を促す内容を盛り込みました。この中で、地域子育て支援センター事業においては、合志市の地域特性でもある孤立してしまいがちな子育て稼働世帯の転入者支援(実際には子育て世帯全般を対象)を、ファミリーサポート事業にて実施。新たに近年、社会問題とされる育児孤立や児童虐待の予防対策を視野に入れた多胎児支援や障がい児支援サポーター育成等、支援体制の構築に向けた取り組みを開始し子育て支援事業を単なる課題解決のための事業とするではなく将来にわたった地域づくり、社会保障の基盤整備と捉え実施しました。また、受託事業への市民参加及び参加者の組織化を意図した地域福祉事業の手法を発揮し、事業が単年度完結ではなく継続できる内容で実施しました。同様に、認知症対策や介護予防事業においても住民参加を促し、地域でのつながりを創造する、社会福祉協議会だからこそできる事業として成果を上げることができました。

特に、安心生活創造事業では、本会単独の住民相互支えあい活動「ぽつかぽかサポート」事業を実施、3年目を迎える年間2,000件余りの住民による住民の支援サービスが展開され県内外からの観察も増え、他地域のモデルとして高い評価をいただきました。

災害時支援事業での取り組みは、最近の異常気象やこれまで経験のない地震・火山の活発な活動等の災害を他の地域の出来事として傍観するのではなく、私たちの地域の課題として主体的に捉えることのきっかけとなる事業であり、昨年の災害ボランティアセンター設置訓練に加え合志市と福祉避難所協定を締結する福祉施設との合同研修を実施するなど新たな取り組みも始めました。

県内初の社会福祉協議会が運営する保育園としてスタートした「このみ坂保育園」は、3年を経過し運営に関する一定の経験が積み重ねられました。しかしながら、社会福祉協議会が掲げる理念の浸透や地域保育所としての役割を達成するためには、更なる資質向上に努める必要があると感じます。そのためには、このみ坂保育園に限らず各管理者がリーダーシップを発揮するとともに、社協職員全員の連携調和が不可欠となります。専門職の集団である社協職員としての意識改革を今後の課題としました。

介護保険サービス事業は、度重なる法の改正の中、県内社会福祉協議会では撤退や縮小も聞かれる状況にあり、本会においてはその位置づけを経営の柱とするだけではなく、介護保険サービス事業を実施することで要援護者の生活課題の確認、地域福祉の受け皿機能、人材育成と市民の介護体験の場及び事業間異世代交流の場とし、その意味では目的を達成できました。

障害支援サービス事業では、身近な菊池地域管内での事業展開を行っていますが、サービス事業者不足もあり利用に制限をかけなければならない状況から、施設と事業の拡充を図ることを目的に 26 年度、国の施設整備補助事業(補助総額 23,086 千円、総事業費 47,867 千円)を得て、3 月末に整備完了、27 年 6 月の指定事業開始に向け準備を進めています。

経営面では 26 年度の活動状況を示す事業活動収入で 697,669 千円、事業活動支出 661,199 千円、事業活動収支差額は昨年を 28,179 千円下回る 36,469 千円でした。健全な経営を維持するためには事業活動収支差額を事業活動収入の対収入比率 8% 以上(社会福祉経営指標=出典:社団法人日本医療福祉建築協会)を目安としており、今年度は 5.22% と若干低めの結果になりましたが、本会が独自に設定する社会福祉法人の対収入比率目標値 4% は上回ることができ安定した経営状況でした。

この要因は、介護サービス事業の減収及び人件費の伸びによるものが大きいと分析されますが、関連事業のなかで、経営管理が最も難しいとされる訪問介護事業・訪問看護事業では依然として厳しい経営環境にあるものの前年を上回る収支結果でした。今後は、27 年度法改正に向けて、新たな戦略の検討を含み次年度以降人員配置及び事業支出の減算等工夫を要することとなります。

一方、障害支援サービス事業(障がい児通所事業)は、定員制限に迫る利用希望があり、フル稼働の職員体制で受け入れを行った結果、事業活動収入で昨年を上回り、さらに次期繰越活動収支差額を 30,000 千円程度出す結果となりました。この事業については療育に対するご利用者の期待も大きく安全面の確保からも空間整備、人員配置等適正な環境整備が必要となります。

全体的には、事業活動収支差額が介護保険事業で 17,620 千円、障がい者自立支援事業で 32,910 千円、保育園事業で 13,611 千円と本会の収益・措置事業分野のそれぞれの事業活動量が昨年同様安定していると分析されます。反面、採算性のない法人運営事業、受託事業で合計△16,288 千円となり保育園事業を除く収益(介護保険、障がい者支援)事業から事業外活動資金の繰入を行い、事業を執行しました。また、次期繰越活動収支差額も、当期末残 41,205 千円の繰越額を含めた 440,896 千円とし自己資本率は 77% を超え安全で安定した経営といえます。

2 業務を推進していく場合の課題

- 合志市からの補助金については毎年協議の対象となっており、経営上の不安要素である
- 市民参加型福祉サービス(ファミリーサポート事業・地域サロン事業・ぽっかぽかサポート・認知症ささえ愛隊等)は人材の固定化・重複・高齢化が課題
- 市民の生活課題や困窮及び認知症の課題が増幅するなか、市民同士の共助のしくみが必要であるが、市民が身近に課題を感じる機会が少ない。
- 災害等が極めて少ない地域性に在って逼迫感に欠ける
- 介護保険法の改正を控え、地域支援事業や既存事業についての見直し検討が必要
- 障害支援サービスについては、利用制限の実態もあり補助事業を活用し環境整備(施設整備)を行って 27 年度から事業を開始する予定であったが、補助事業申請時から管内利用施設が 3 倍に増え当初計画からの見直しが必要となった。また、療育方針と安全確保の観点から専門職の配置と余裕を持った人員配置が必要となる
- 市民から必要とされる事業の継続及び創設については、経営的試算が充分に検討できていない状況にあり、事業の効果測定及び市場調査、長期経営試算等の客観的評価指標が必要である

また、2019年施設の賃貸契約満了となる南ヶ丘福祉支援センターを含み、賃貸等の事業設備については毎年度考察を行い、適切な次期事業準備及び減価償却分積立金を含め投資検討・計画が必要

- 新会計への移行を契機とし、拠点区分ごとの経営管理を精査する必要がある
- 市の財政力指数に匹敵する経営判断基準となる自己資本比率は77%台を推移し、県内社協においては最も安定した経営状況ではあるが、受託を中心とした合志市依存財源が37%を占めており、受託変更、事業廃止等の不安もあり、必ずしも安定経営とは言えない。また、収益事業の中心となる介護保険事業、障害者支援事業も県内では民間事業者との競争激戦地域でもあることから質の確保を図ることが求められる

3 今後の方向性

- 市からの補助金については、法の根拠を明らかにし補助金協定書の締結をめざし、定期的見直し(複数年度契約)実施されるよう協議を進める
- 介護保険法改正や福祉後見事業及び認知症地域支援体制構築等新たな市民活動の必要性から、人材育成の手法や仕組みについて検討する(熊本県生涯現役推進モデル事業の活用)
併せてイベントや広報活動を強化、市民へ地域課題の理解を促進する
- 引き続き災害ボランティアセンター設置訓練及び災害時避難所運営訓練を実施することで市民の理解と福祉避難所の協力体制を強化していく
- 支援サービスについては、法・地域環境・利用者ニーズを把握し、現状に合った事業運営を市と協議しながら進めしていく。また、求められる安全性と専門性の確保については経営状況とも関連が深い事柄であり中期・長期目標を設定し現状分析と併せ計画的に進める
- 賃貸設備については、現況の評価、契約内容の変更を含め適切な投資判断を行い、さらに長期契約の判断や見直しを協議し経営の適正化を図る
- 社協合併10年目を迎える、設備資産の老朽化や人件費の見通し、適宜な法改正への対応等、これから10年に向けた経営戦略が必要であることから、職員レベルでの経営会議等、協議検討の場の設置を検討する

平成26年度 合志市社会福祉協議会実施事業一覧

根	委託等事業名	幹	実施事業施策名	枝	実施事業名	枝	
1	組織運営	1	組織管理事業	1	役員会・評議員会の運営・実施	1	
					社会福祉苦情解決委員会(第三者委員会)の設置運営	2	
					経営適正化推進事業(会計士・社会保険労務士・監査の実施)	3	
					社会福祉協議会研修支援事業(理事・職員・資格奨励事業)	4	
				2	介護職員等処遇改善事業	5	
					特定求職者雇用促進事業	6	
				1	安全運転管理者設置及び安全運転管理推進事業	7	
					自営防火・防犯推進事業	8	
			3	職員管理支援事業	職員就業支援事業	9	
					職員互助会支援事業	10	
					職員ヘルスケア支援推進事業(産業医[嘱託医]の設置)	11	
2	経営管理事業	4	財務管理事業	1	他事業所・組織内相互人事交流事業	12	
					合志市地域包括支援センター出向者派遣事業	13	
					経営戦略事業(経営戦略会議・課長会の実施)	14	
					資産管理運用事業	15	
				2	自己資金適正投下評価事業	16	
					新会計移行	17	
3	地域福祉推進事業	5	事業管理事業	1	事務事業評価事業(事業評価シート)	18	
					IT活用戦略推進事業	19	
					ほっとラインの発行(年12回)	20	
					ホームページ運営(本所・のみ・れんが)	21	
				2	フェイスブック開設運営(本所・れんが)	22	
					ツイッター開設運営	23	
				3	種別広報(児童館・レンガ・地域の瓦版・デイ・南ヶ丘)	24	
					広報推進事業(のぼり・横断幕・にわか劇団)	25	
					各種福祉団体助成事業(11団体)	26	
					障がい者共同作業所支援事業(パレットハウス)	27	
					地域組織化推進助成事業(地域福祉連絡協議会)	28	
4	(指)指定管理事業	8	合志市社会福祉施設指定管理受託	1	サロン推進助成事業	29	
					合志市老人憩の家指定管理受託事業	30	
					合志市みどり館指定管理受託事業	31	
5	社会貢献活動の実施	9	情報提供活動普及事業	1	合志市保健福祉センターふれあい館指定管理受託事業	32	
					視察研修受入事業	33	
					社会福祉関係講習会講師派遣		
				10	地域福祉広報強化推進事業	34	
					ホームページ運営(本所・のみ・れんが)	35	
					フェイスブック開設運営(本所・れんが)	36	
					ツイッター開設運営	37	
					種別広報(児童館・レンガ・地域の瓦版・デイ・南ヶ丘)	38	
					広報推進事業(のぼり・横断幕・にわか劇団)	39	
					各種福祉団体助成事業(11団体)	40	
6	社協活動財源確保推進事業	11	人材育成支援事業	1	障がい者就労職場体験実習支援	41	
					小中高生職場体験実習支援		
					社会福祉ワークキャンプ事業		
					① 社会福祉協議会会員募集月間の推進		
				2	1) 一般会員募集増強	42	
7	福祉資金貸付事業	12	生活福祉資金貸付推進事業		2) 賛助会員募集増強		
					3) 法人会員募集増強		
					活動寄付の募集	43	
8	赤い羽根共同募金事業	13	福祉金庫貸付事業	3	活動募金の募集	44	
					安心創造活動資金推進事業(新たなファンド開発推進事業)安心オフィシャルスポンサーの開拓(地域応援企業)	45	
8	赤い羽根共同募金事業	14	赤い羽根共同募金募集事業	1	生活福祉資金貸付相談事業	46	
					生活福祉資金貸付事務事業(県社協)	47	
8	赤い羽根共同募金事業	15	赤い羽根共同募金地域配分事業	1	福祉金庫貸付事業	48	
					赤い羽根共同募金推進月間強化事業	49	
				2	歳末助け合い推進事業	50	
					○ 老人福祉活動事業(地域見守り支援事業)	51	
				○ 障がい者福祉活動事業	○ 障がい者福祉活動事業	52	
					1) 障がい児療育サロン運営費助成事業	53	
					2) おもちゃ図書館育成助成事業	54	
				3	3) 視覚障がい者情報提供支援事業(音声役テーブル提供)	55	
					4) 音声訳音機整備事業	56	
				4	5) 完全参加と平等推進事業(レインボーシアター協働)	57	
					○ 児童青少年福祉活動		
				5	1) 児童生徒のワークキャンプ推進事業	58	
					2) 子ども手話教室	59	
				6	3) 子育てサロン等地域組織化助成活動	60	
					4) 自然交流ドローリンピック	61	
				7	5) アグリックラブ	62	
					6) ボランティア協力校推進事業(14校)	63	
				8	○ 母子父子福祉活動		
					1) 母子家庭就労支援事業	64	
				9	○ ボランティア活動育成事業		
					1) 初級ボランティア養成講座	65	
				10	2) ボランティア教室	66	

平成26年度 合志市社会福祉協議会実施事業一覧

根	委託等事業名	幹	実施事業施策名	枝	実施事業名	枝
				3	3)防災教室	67
				○	○ 地域福祉育成援助事業	68
				1	1)福祉イベント推進事業(ふれあいフェスティバル)	
				2	2)福祉団体体育助成事業(事業推進助成8団体)	69
				3	3)小規模作業所支援事業(1か所)	70
				4	4)地域福祉推進助成事業(ボラ連・民協・老連)	71
				5	5)小地域組織化推進事業(福祉委員設置)	72
				6	6)福祉推進組織化モデル事業助成	73
				7	7)交流促進事業(音楽祭・収穫祭参加交流)	74
			歳末助け合い事業	1	歳末助け合い事業(地域見守り支援事業に繰り出し)	75
9	福祉後見生活支援事業	16	地域福祉権利擁護事業	1	相談支援事業	76
				2	生活支援員派遣事業	
10	生活困窮者自立支援事業	17	就労・家計・学習支援事業の研究		就労・家計・学習支援事業の構築(市との協働)	77
11	(委)安心生活創造事業	18	安心生活創造事業基本事業	1	地域福祉コーディネーター設置事業	78
				2	情報発信・個別調査推進事業	79
				3	拠点整備事業(生活支援センター整備事業)	80
				4	安心ホットライン設置推進事業	81
		19	(委)地域福祉人材育成事業	1	福祉人材認定事業	82
				2	認知症サポート一養成事業	83
12	安心生活サポート事業	20	住民参加型支援サービスぽっかぽかサービスの実施	1	ぽっかぽか・団体登録の推進	84
				1	ぽっかぽか・多胎児支援事業の推進	85
				1	ぽっかぽか・ホワイトエンジニア支援事業の推進	86
13	(委)生活・介護支援センター養成事業	21	(委)生活・介護支援センター養成事業	1	生活・介護支援センター養成事業	87
14	(委)認知症地域支援体制構築等整備事業	22	支援体制構築推進事業	2	認知症理解啓発推進事業[(フォーラム・座談会)]	88
				3	ネットワーク構築事業(サポートメール(愛バングル配信等)	89
				4	支援組織化事業(支え愛隊・支え愛事業所普及事業)	90
		23	地域住民参加型実践活動	5	認知症地域支援員設置事業	91
				1	徘徊模擬訓練事業	92
				2	認知症家族支援事業(当事者組織化活動)	93
15	ボランティアセンター事業	24	ボランティアセンター運営事業	1	コーディネーター設置事業	94
				2	ボランティア地域活動支援事業(登録・斡旋・保険加入促進)	95
		25	ボランティア普及推進事業	1	ボランティア研修事業(体験学習・初級・専門)	96
				2	ボランティア協力校支援事業	97
				3	ボランティア活動推進機材貸付事業	98
		26	災害時要援護者支援推進事業	1	災害時ボランティアセンター設置訓練事業	99
				2	災害時要援護者避難所設置訓練事業	100
		27	ボランティア組織支援事業	1	ボランティア組織支援事業(ボラ連支援・交流事業・研修支援)	101
				2	菊池地域ボランティアフェスティバル実施事業	102
				3	ボランティア連絡協議会交流事業	103
16	地域福祉推進事業	28	地域福祉推進啓発事業	1	地域福祉推進ふれあいフェスティバル	104
				2	福祉会館活性化推進事業	105
		29	地域福祉連絡協議会活動推進事業	1	地域福祉推進地域設置推進事業	106
				2	小地域ネットワーク事業	107
		30	児童福祉推進事業	3	要援護者支援システム(GPS)構築事業	108
				1	父親ネットワーク事業	109
				2	子供ボランティア育成事業(花鳥風月)	110
				3	地域の遊び場ブレイバー事業	111
				4	中高生の居場所づくり事業(スポーツ・音楽活動)	112
				5	ドリリピックの開催	113
		31	高齢者福祉推進事業	○	高齢者の孤立化予防・生きがい支援対策事業	114
				1	一人暮らし支援事業(交流事業・友愛訪問)民協協働	115
				2	(委)地域グループリビング推進事業(サロン事業の推進)	116
					サロン支援ボランティア育成	117
				3	(委)生きがいと健康づくり推進事業	118
					生きがいづくり講座(4講座)	
					男性料理教室	119
					生きがいづくり組織化支援活動(団塊の世代の組織化)	120
				4	(委)高齢者地域支援体制整備・評価事業(心配こと相談事業)	121
				5	(委)家族介護者交流事業(家族丸ごとフレッシュ事業)	122
				6	(委)認知症予防教室(脳いきいき教室・拠点教室・地域教室計3ヵ所)	123
				7	(委)認知症予防教室(認知症予防パソコン教室)	124
				○	(委)家族介護者教室	125
					家庭介護技術講習会	126
				7	家族介護者のための福祉講演会	127
					福祉制度普及促進講習会事業	128
		32	(委)合志地区総合相談支援事業	1	合志地区総合相談支援事業	129

平成26年度 合志市社会福祉協議会実施事業一覧

根	委託等事業名	幹	実施事業施策名	枝	実施事業名	枝
17	(委)地域子育て拠点支援事業(センター型)	33	1)子育て親子の交流の場の提供と交流促進 2)子育てに関する相談援助 3)子育て関連情報の提供 4)家庭的保育を行う者への支援 5)情報提供	1	ぴよぴよサロン(未満児対象)	130
					わくわくサロン(就学前児童対象)	131
					竹ん子サロン(地域)	132
					子育てサークル育成事業	133
					子育て広報促進事業	134
		34	子育て及び子育て支援に関する講習会の実施	2	地域子育てふれあい交流事業	135
					地域子育て文化交流事業	136
					子育て社会体験事業	137
					BP(親子の絆づくりプログラム事業)	138
18	(委)児童センター事業	35	集団および個人指導における健全育成事業	1	児童館設置運営事業	139
					児童厚生員の設置事業	140
					体力増進活動	141
					親と子の食事セミナ自然体験活動事業	142
		36	その他の健全育成事業	4	年長児等来館促進事業	143
19	(委)ファミリーサポートセンター事業	37	1)ファミリサポートセンター事業 2)援助活動の研修及び指導に関する業務 3)会員間の交流会に関する業務	1	コーディネーターおよびアドバイザーの設置	146
					会員登録及びサービス利用の促進	147
					会員養成講習会および交流会の開催	148
		38	緊急サポートネットワーク事業	1	深夜・お泊り支援の実施	149
					病児預かり事業の促進	150
					病児病後児保育室「健やか」の設置運営	151
20	(委)病児・病後児保育事業	39	病児・病後児保育室の設置運営	1	病児病後児保育室「陽(光)」の設置運営	152
					病児病後児保育室「月曜子ども健康相談室」の開催	153
		40	健康相談の実施	1	月曜子ども健康相談室の開催	154
21	(委)(補)放課後児童健全育成事業	41	(委)放課後児童対策事業	1	キッズクラブの設置運営	155
					ビースクラブの設置運営	156
					学童クラブ障がい児受入	157
		42	(補)学童クラブの実施	1	第一小学校地域学童クラブの設置運営	158
22	(委)ひとり親家庭等日常生活支援事業	43	(委)夏休み等児童預かり事業	1	夏つすクラブの設置運営	159
					生活援助員派遣事業	160
					子育て支援員派遣事業	161
23	介護保険介護予防地域支援事業	45	(委)閉じこもり予防通所事業	1	閉じこもり予防通所事業	162
					高齢者生活管理指導員派遣事業	163
		46	(委)高齢者生活管理指導員派遣事業	1	認知症高齢者家族やすらぎ支援事業	164
24	居宅介護支援事業	48	指定居宅介護支援事業	1	指定居宅介護支援事業	165
					訪問調査支援事業	166
					住宅改修理由書作成事業	167
					介護報酬代理受け取り事業	168
					介護保険代理申請事業	169
25	介護保険事業	50	通所介護事業	1	福祉用具一時貸付事業	170
					指定通所介護事業	171
					時間延長介護支援事業	172
26	指定訪問看護事業	51	訪問介護事業	1	指定介護職員喀痰吸引・経管栄養支援事業	173
					指定訪問介護事業	174
					指定予防訪問介護事業	175
27	(委)地域活動支援センター	52	指定訪問看護事業	2	有償介護支援サービス事業	176
					指定介護訪問看護事業	177
					指定医療訪問介護事業	178
28	熊本県指定相談事業所の設置経営	53	創作的活動・生産活動(自己実現プログラム) (自立支援プログラム)	1	指定精神通院医療訪問看護事業	179
					れんが工房活動	180
					陶芸	181
29	合志市 指定相談支援事業所の経営	54	社会との交流を促進する活動(社会参画プログラム)	2	パン等石窯を使った食品加工	182
					農耕活動	183
					木工クラブ等	184
30	合志市障害者虐待防止センターの設置運営	55	地域活動参加促進	1	地域活動参加促進	185
					地域イベントへの参加促進	186
					高齢者サロンとの交流事業の開催	187
31	障害者居宅介護事業	56	手話教室の開催	1	手話教室の開催	188
					広報「レンガだより」の発行	189
					24時間相談窓口委託事業	190
32	日中一時支援事業の実施	57	指定一般相談支援事業所の設置運営	1	指定一般相談支援事業所の設置運営	191
					指定特定相談支援事業所の設置経営	192
					指定障害児相談支援事業所の設置運営	193
33	障害者虐待防止センターの設置運営	58	24時間相談窓口委託事業	1	24時間相談窓口委託事業	194
					ホームヘルパー派遣事業の実施	195
					重度訪問介護事業の実施	196
34	障害者居宅介護事業	59	同行援護事業の実施	2	同行援護事業の実施	197
					地域支援事業移動支援事業の実施	198
					有償ヘルパーサービス事業	199
35	障害者初任者養成研修事業	60	介護職員初任者養成研修事業	2	介護職員初任者養成研修事業	200
					就学期日中一時支援事業の実施	201
					就学後継続支援事業の実施	202

平成26年度 合志市社会福祉協議会実施事業一覧

根	委託等事業名	幹	実施事業施策名	枝	実施事業名	枝	
33	指定障がい者支援事業の実施	60	生活介護事業所の設置経営	1	指定生活介護事業の実施	203	
				2	基準該当通所介護事業所の設置経営	204	
34	障がい児支援事業の実施	61	就労支援事業所の設置経営	1	指定就労支援事業の実施	205	
				2	就学期障がい児放課後等デイサービス事業の実施	207	
35	このみ坂保育園の開設運営事業	62	障がい児通所事業の設置経営	1	就学前児童発達支援事業の実施	206	
				2	就学期障がい児放課後等デイサービス事業の実施	207	
		63			保育土処遇改善臨時特例事業(補助交付時)	208	
				1	通常保育事業	209	
					異年齢保育事業	210	
		64			入所児体力増進事業	211	
					入所児食育推進事業	212	
				2	障がい児保育事業	213	
		65		1	延長保育事業	214	
				2	一時保育事業	215	
				3	休日保育事業	216	
36	地域子育て拠点事業(ひろば型)	66	地域子育て拠点事業(ひろば型)	1	家庭的保育を行う者への支援事業	217	
				2	保育所体験交流事業	218	

職員数は平成27年1月1日現在

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
総務課		11 (出向3人含む) 人	11 (施設管理含む) 人	22 人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 組織運営状況(重要事項の決議)

- ・平成26年6月30日/荒木義行会長重任、副会長:坂本国顕理事・古莊律子理事を選任。
会長職務代理者に合志良一理事を選任。
- ・障がい者多機能支援施設スペーシアれんが新築工事請負契約締結
- ・このみ坂保育園駐車場拡張工事請負契約締結
- ・規則改正/処務規程(事務局編成)、就業規則(嘱託職員の正規職員登用に関する規定追加)
職員給与退職手当規程(住宅手当廃止)、臨時職員就業規則(年次有給休暇付与)
経理規程(新会計基準)

(2) 人事労務状況(法人全体)

・職員数 (数字)は割合

正規職員	嘱託職員	臨時職員	登録職員	合計
68人(29.6)	50人(21.7)	59人(25.7)	53人(23.0)	230人(100)

(3)財務状況

平成26年度決算は、資金の保有状況をみると経常活動収入は前年度並。施設整備費用に投じた金額が6800万円(内、補助金が2300万円)相当あったことから、当期資金収支差額が200万円ほど目減りした。

事業活動収支の部では、正規職員の採用により常勤職員比率が高まったことから人件費が増加する一方、売上高が横ばいであったため昨年度と比較すると減益であったが、当期活動収支差額は4100万円の黒字となり、平成26年度は減収増益となった。

2 業務を推進していく場合の課題

- 社会福祉法改正に伴う法人経営への影響(主な改正内容は、平成28年度決算でいわゆる余裕財産がある社会福祉法人には、翌年度から地域貢献の計画策定と実施を義務づけることや理事会、評議員会の権限や運営方法を条文化するというもの。)
- 労働契約法等の改正による非常勤職員の就労体系の見直しと社内規則の整理が必要。
- マイナンバー制度への対応。(個人情報保護の強化や事務処理への対応)
- 新会計基準への移行に伴い拠点区分毎の財務管理の体制整備が急務である。
- 合志市からの補助金、委託事業の見直しによって経営上大きな変動がある。

3 今後の方向性

今後、社会福祉法改正をはじめ、労働、税務、また財務規律に関する関係法令の改正が行われる。このような経営組織の強化を柱とする制度改正が行われることから、本会の投資活動(施設の新設・改修整備、新たなサービス展開、人材への投資など)の取組みや組織運営方針など、会長・常務・事務局長を中心に各課管理者との協議を通じて情報の共有を図り、今後の環境変化に対応できるよう総務課内で携わる財務、人事労務管理の検証を進めていく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
1	理事会、評議員会の運営・実施 ・理事会開催数 4回(5/26、6/30、9/29、3/27) ・評議員会 3回(5/26、9/29、3/27) (主な協議事項) ・平成25年度事業報告、決算報告 ・平成26年度補正予算 ・役員、評議員の任期満了に伴う改選 ・会長(代表理事)の選任(登記事項)、副会長(2名)の選任 ・会長職務代理者の選任 ・このみ坂保育園駐車場拡張工事請負契約締結の承認 ・障がい者多機能支援施設スペーシアれんが指名業者候補の選定 ・平成27年度事業計画、予算 ・規則、規程の改正(経理規程、処務規定、就業規則等)	継続	独自事業
		根 拠 法 実 施 回 数 実 施 場 所 定 数	社会福祉法 ① 理事会 4回 ② 評議員 3回 社協本所 (ふれあい館) ① 理事 10人 ② 評議員 22人
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
2	福祉サービス苦情解決制度 (事業の内容) 社会福祉法の規定に基づき、本会の実施する福祉サービスの提供に対する利用者からの苦情に関する社内体制を整備。 (業務体制) ・苦情受付担当者：各課課長 ・苦情解決責任者：事務局長 ・第三者委員：評議員(民生委員)2名 (取扱件数) ・苦情受付状況 10件 ・申出人 ①利用者4人、②家族等4人、③その他2人	継続	独自事業 根 拠 法 実 績 年 度 対 象 者 受 付 件 数
		社会福祉法 平成25年度分 を掲載 福祉サービス等の 利用者 10件	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
3	経営適正化推進事業(会計士・社会保険労務士・監査の実施) (事業者) ・経理事務指導等 加久会計事務所 ・労務事務指導等 菅原雇用労務管理事務所 (依頼内容) ・経理事務指導等 毎月1回の定期指導、決算事務指導 消費税申告事務ほか ・労務事務指導等 入、退社時申告事務、 規則改正時の事務指導ほか	継続	独自事業 事 業 費 千円

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態							
3	経営適正化推進事業(合志市指導監査)	継続	他の事業							
(文書指摘事項) なし (改善指導事項) ・社会福祉事業用の資産を賃貸借契約で行うときは賃借権の登記をすること。 ・本所のほか各施設においても現金の取扱がある。現金を取扱う場合は責任体制の確保のため全施設について会計組織のあり方について検討すること。 ・財産目録の純資産及び登記された資産総額について、貸借対照表の純資産額と不整合となっているので改善すること。 ・公益法人からの助成金が補助金明細書に計上されていないので、民間公益補助事業の助成金等も補助金として計上すること。 ・契約について、実施伺いは作成されているが、随意契約に付す経理規程上の理由がないものがある。実施伺いに随意契約の根拠を明確に記載すること。また、随意契約による購入等において、見積書がないものや単独のものがあった。随意契約を行う場合は、複数の見積書を徴したうえで契約すること。	根拠法 実施日時 実施場所 実施機関 人 数	社会福祉法 第56条第1項 1月20日(火) ふれあい館 合志市 3名								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態							
3	経営適正化推進事業(監事による監査:平成25年度分)	継続	独自事業							
(監査対象) ① 組織運営状況、事業実施状況、会計状況 (監査意見:監査意見書はホームページで公開のため以下抜粋) ① 組織運営状況 住民の福祉ニーズは個別化しており、応対する職員はより専門的な知識が必要となってくる。今後も職員の能力を上げる努力を組織的に取り組み、人員の配置状況など将来に向けて適正な組織運営に努められたい。 ② 事業実施状況 収益事業や市の委託事業・独自事業を含め、社会福祉協議会の役割を踏まえ継続的な検証を実施し合志市との事業調整を進める必要がある。 ③ 会計状況 会計処理については、適切に処理されているが、今後は、個別の事務事業について事業内容や事業収支について検討し、組織運営と事業実施について十分調整を図られたい。	根拠法 実施日時 実施場所 実施機関 人 数	社会福祉法 第40条第1項 5月15日(木) ふれあい館 本会監事 2名								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態							
6	試行雇用奨励金・特定求職者雇用促進事業	継続	他の事業							
(1)トライアル雇用制度の活用 ハローワークが紹介する障がい者を3ヶ月間雇用し、その間に、業務遂行に当たっての適性や能力などを見極め、常用雇用への移行を促す制度を活用、1名の雇用を行った。 (2)雇用実績 <table border="1"><tr><th>手帳所持者数</th><th>ひとり親家庭</th><th>高年齢者(60歳以上)</th><th>合 計</th></tr><tr><td>8</td><td>6</td><td>43</td><td>57</td></tr></table> (3)障がい者の就労状況 ①就業場所 ふれあい館の清掃業務 ②勤務日 月曜日～金曜日 8:00～12:00/13:00～17:00 ③雇用実績 5名(指導員1名を別途配置)	手帳所持者数	ひとり親家庭	高年齢者(60歳以上)	合 計	8	6	43	57	根拠法 助成金額 助成対象事業 対象者 常用雇用移行者数	雇用保険法 120,000円 (3ヶ月間) 試行雇用奨励金 (トライアル雇用) 障がい者 本会での実績 1名
手帳所持者数	ひとり親家庭	高年齢者(60歳以上)	合 計							
8	6	43	57							

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
7	安全運転管理者設置及び安全運転管理推進事業 ・安全運転管理者 事務局長(別途、副安全運転管理を設置) (公用車による事故等の状況) ①人身事故 なし ②物損事故 19件	継続	独自事業																				
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
新	菊池圏域CSW研究協議会 (目的) 菊池圏域内の社会福祉協議会職員研修を通じての相互の職務のレベルアップとCSWとして資質の向上、親睦と交流を行い、ネットワークの構築を図る。 (メンバー) 菊池圏域社会福祉協議会職員 (主な活動) ・管内社協交流会 大津町社協 6/15(日) 15名 ・学習会 合志市社協 9/18(木) 20名 住民参加型在宅福祉サービス事業について 「合志市社協 ぽつかぽかサービス」、「キャロットサービス」 ・雑談会 菊陽町社協 3/5(木) 12名 管内社協職員意見交換会	単年度	独自事業																				
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
新	平成25年度熊本県障がい者福祉施設整備費補助金 (創設施設名称) 障がい者多機能支援施設「スペーシアれんが」 (所在地) 合志市須屋2540番地1 (工事概要) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>整備施設名称</th><th>建築面積</th><th>延べ面積</th></tr></thead><tbody><tr><td>新 設</td><td>本体建築</td><td>180. 49</td><td>177. 79</td></tr><tr><td>新 設</td><td>渡り廊下(既存建物と接合)</td><td>49. 04</td><td>0. 00</td></tr><tr><td>移 設</td><td>カーポート(既存を移設)</td><td>31. 17</td><td>52. 67</td></tr><tr><td></td><td>合 計</td><td>260. 70</td><td>230. 46</td></tr></tbody></table> (工事請負人) 株式会社水上建材建設 合志市御代志1610-1 (工期) 自:平成26年10月24日 至:平成27年2月28日	項目	整備施設名称	建築面積	延べ面積	新 設	本体建築	180. 49	177. 79	新 設	渡り廊下(既存建物と接合)	49. 04	0. 00	移 設	カーポート(既存を移設)	31. 17	52. 67		合 計	260. 70	230. 46	事業費 実施日時 実施場所 対象者 人數	千円 年3回 菊池圏域の各社会 福祉協議会 職員 15名
項目	整備施設名称	建築面積	延べ面積																				
新 設	本体建築	180. 49	177. 79																				
新 設	渡り廊下(既存建物と接合)	49. 04	0. 00																				
移 設	カーポート(既存を移設)	31. 17	52. 67																				
	合 計	260. 70	230. 46																				

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
30	老人憩の家指定管理業務	継続	合志市受託事業																
(事業の内容)																			
・本施設は平成6年4月開館。平成18年9月より指定管理者制度により本会が管理運営を行う。(それまでは受託事業)		営業日	火曜日～日曜日																
・現在、第3期(平成24～28年度)の基本協定を合志市と締結。		営業時間	9:00～19:00																
(利用者及び利用料金)																			
・60歳以上の高齢者 合志市内/100円、市外/400円			月曜日																
(実績)			12/29～1/3																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">合志市</th> <th colspan="2">市外</th> <th rowspan="2">免除</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>個人</th> <th>団体</th> <th>個人</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61,298</td> <td>674</td> <td>850</td> <td>0</td> <td>1,442</td> <td>64,264</td> </tr> </tbody> </table>	合志市		市外		免除	合計	個人	団体	個人	団体	61,298	674	850	0	1,442	64,264	対象者	60歳以上の高齢者
合志市		市外		免除	合計														
個人	団体	個人	団体																
61,298	674	850	0	1,442	64,264														
(その他)																			
・利用者の要望により、12月30日まで開館しサービス向上を図った。		年間利用者数	64,264人																
・受付ほか、施設管理の一部業務を合志市シルバー人材センターに委託。																			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
31	合志市福祉センターみどり館指定管理業務	継続	合志市受託事業																
(事業の内容)																			
・本施設は平成14年4月開館。平成18年9月より指定管理者制度により本会が管理運営を行う。(それまでは受託事業)		営業日	月曜日～日曜日																
・現在、第3期(平成24～28年度)の基本協定を合志市と締結。		営業時間	9:00～21:30																
(利用者及び利用料金)																			
・入浴料金:合志市内/100円、市外/400円 、 部屋使用料は別途		休日	火曜日																
(実績)			12/29～1/3																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">合志市</th> <th colspan="2">市外</th> <th rowspan="2">免除</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>個人</th> <th>団体</th> <th>個人</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25,299</td> <td>25</td> <td>47</td> <td>85</td> <td>11,124</td> <td>36,580</td> </tr> </tbody> </table>	合志市		市外		免除	合計	個人	団体	個人	団体	25,299	25	47	85	11,124	36,580	対象者	合志市民
合志市		市外		免除	合計														
個人	団体	個人	団体																
25,299	25	47	85	11,124	36,580														
(その他)																			
・利用者の要望により、12月30日まで開館しサービス向上を図った。		年間利用者数	36,580人																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
32	合志市保健福祉センターふれあい館指定管理業務	継続	合志市受託事業																
(事業の内容)																			
・本施設は平成14年6月、保健センター、子育て支援センター、児童館の複合施設として開館。以来、社協の拠点として介護保険事業、市委託事業、乳幼児健診・がん検診の会場、ボランティアセンター、市民交流の場として総合的な保健・福祉事業を展開。		営業日	事務所機能:無休 ※貸室:火～日																
・現在、第3期(平成24～28年度)の基本協定を合志市と締結。		営業時間	8:30～22:00																
(利用者及び利用料金) 各部屋に使用料が必要。		休日	貸室:月曜日																
(実績)			12/29～1/3																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">合志市</th> <th colspan="2">市外</th> <th rowspan="2">免除</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>個人</th> <th>団体</th> <th>個人</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>3,510</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>52,201</td> <td>55,711</td> </tr> </tbody> </table>	合志市		市外		免除	合計	個人	団体	個人	団体	0	3,510	0	0	52,201	55,711	対象者	合志市民
合志市		市外		免除	合計														
個人	団体	個人	団体																
0	3,510	0	0	52,201	55,711														
(その他)																			
・法人の主たる事務所として登記。		年間利用者数	55,711人																
・デイサービスセンター給湯設備(シャワー)を改修。																			

職員数は平成27年1月1日現在

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
地域福祉課		9 人	6 人	15 人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

本会の理念である「やさしくて穏やかな福祉社会の創造」に向け、地域住民の生活のしづらさに焦点を当て問題解決を住民とともに解決できるための基盤事業を促進した。特に、平成27年度から施行される介護保険改正や介護予防総合事業、生活困窮者自立支援法へ対応するため事業の再編及び点検を実施した。また、住民主体の地域包括ケアを構築するため、個別ニーズの解決のみならず住民自身が地域の役割を担うまちづくりの体制整備に努め、高齢者サロンや高齢者の生きがいづくり事業等を実施し、短期支援事業修了者への趣味活動サロンへの誘導等、事業後のフォローアップにも努めた。

小地域での地域福祉活動の活発化及び地域課題への気づきと解決を目的とした、地域福祉座談会を3地区(武蔵野台、南陽、中林)で実施し、地域の困りごとを解決する方法を住民自身が検討した。どの地域でも買い物やゴミ捨て等のちょっとした困りごとや近所付き合い、顔を合わせる機会や見守り活動等の住民相互による助け合いシステムを必要とする意見も多く、安心生活創造事業で培った避難行動要支援者等の把握・登録やぽっかぽかサポートへの事業拡充へつながった。さらに、平成27年度施行の生活困窮者自立支援法を前に総合相談や専門相談の課題、社会的孤立の問題解消へつながりをつくるための見守り活動や地域サロン等のサポーター育成等支援者育成にも取り組んだ。

認知症地域支援対策では、徘徊・行方不明者が毎年増加しており、市民への啓発強化及び支援者育成に取り組んだ。支援者活動では、ささえ愛隊へのメール配信や徘徊者捜索協力を実施しましたが発見・通報に至ったケースは少なく、実際に行動していただく実行力のある支援者育成にとどまらず、関心を持って見守りを行う間接的支援者育成の必要性を感じた。

非常時の対策として、災害ボランティアセンター設置訓練を近隣社協参加共同により応援体制を考慮した訓練と福祉避難所運営訓練では市が指定する施設等が集まり情報交換を実施し、さらには災害時のみならず平時からの支援活動が不測の事態への対応につながることを認識共有した。

2 業務を推進していく場合の課題

地域は流動的であり毎年同じことを繰り返し行っていく事が必要である。この場合個人だけではなく集団や地域を対象とした組織化が有効的であり、現在すずかけ台地区をはじめとし組織化が進んではいるが、さらに自治会やコミュニティー単位での組織化推進が課題である。

また、一人世帯の増加及び高齢化による課題が表面化しつつあり今後の重点課題となる地域福祉権利擁護事業に加えて成年後見制度へ社協で対応できるよう法人後見事業が今後必要となってくる。平成27年度からはじまる生活困窮者自立支援法、介護保険法改正等に対応すべく相談センターを一元的に実施することで、これまでの社協が実施する横断的包括支援がさらに多層的、多様性を備えたワンストップ支援拠点としての機能が求められる。

3 今後の方向性

本会がこれまで実施してきたワンストップ・統合的福祉及び横断的包括支援の考え方は、合志市で平成28年度から実施予定の介護予防・日常生活支援総合事業が目標とする地域包括ケアの考え方と合致しており、これまで社協で培ったサロン活動や見守り活動、安心生活創造事業等が中心的施策となっていくと思われる。今後も国や県・市の動向を確認しながら、合志市固有の生活課題解決のための本会独自の取組で地域や住民への支援方法を創造し、生活支援コーディネーターの役割促進や地域包括ケアの推進、地域住民やボランティア等のサポーター養成へと取り組みを着実に進行していく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
20-25	地域福祉広報強化推進事業 地域福祉及びボランティア活動の情報を発信し関心ときっかけづくりに努めた。住民参加型の支援・サービスへの取り組みを重点に活動紹介等を行った。 1、ほっとラインの発行 毎月12回発行、嘱託員を通じて配布、総発行231,730部 2、ホームページ、フェイスブック、ツイッター インターネット・SNSによる法人紹介と事業等の情報をリアルタイム発信、行事の募集や報告にも活用 3、種別広報 ふれあいサロン情報等の種別広報発行 4、ファンクショナル広報 掲示板へのチラシ掲載、特にPC教室OBによる地域特派員取材記事をふれあい館に掲示	継続 実施日時	独自事業 通年
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
26-29	地域福祉推進助成事業 地域福祉推進を目的に下記のとおり助成を行った。 1、各種福祉団体助成事業 保護司会合志分会、身障者福祉協議会、母子寡婦福祉連合会、子ども会育成連絡協議会、区長協議会、障害者親の会(虹の会)、更生保護女性会、民生委員協議会、老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会 2、障がい者共同作業所支援事業 オリーブの会(パレットハウス) 3、地域福祉連絡協議会 モデル地区5地区(須屋、黒石、中央、野々島、合生地区) 4、サロン推進助成事業 高齢者サロン38団体、子育てサロン7団体	継続 実施日時	独自事業 通年
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
33	情報提供活動普及事業 1、視察研修受入事業 平成26年度 16回 計370人 2、社会福祉関係講習会講師派遣	継続 実施日時 実施場所 対象者 人 数	独自事業 通年 ふれあい館ほか 県内外 370人

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
41	社会福祉ワークキャンプ事業 全国的に7、8月に展開されている「ボランティア体験月間」に伴い、福祉やボランティアへの関心を深める体験や講習会を通じて、地域の様々な問題・自分たち自身の問題について考えるきっかけづくりとして児童・生徒を対象とした体験学習を各ボランティア協力校等に参加を呼びかけ開催した。	継続	独自事業
	実施日時	左記記載	
	実施場所	左記記載	
	対象者	市内小中高校	
	人 数	38人	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
42	社会福祉協議会会員募集 社協会員は、本会の運営のほか地域福祉活動を支えるため本会の趣旨に賛同した個人・団体により構成され、実績は下記のとおりとなり、一般会員(戸別)の加入率は57.0%(前年比△5.2%)となった。	継続	独自事業
	募集実績	6,268千円	
	実施日時	7月～9月	
	対象者	市民及び事業所	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
43-44	活動寄付・募金等の募集 地域福祉活動の財源として寄付金の受入を実施した。なお東京エレクトロニ九州(株)からのマッチングギフトによる寄付額は50万円で、本年度までの累計額は2,615,758円となった。	継続	独自事業
	募集実績	6,638千円	
	実施日時	通年	
	対象者	市民及び事業所	

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																																									
一	日本赤十字社社資の募集	継続	他の事業																																																																									
	日赤の活動は、人道的見地から国境を越え災害・救援活動を主とした活動を行っている。この活動を支える社資募集は、全国一斉に毎年5月に実施しており、合志分区では、日赤活動に賛同するとともに、救急法の普及・災害支援事業等の事業面及び社資募集の分区活動を本会が事務対応を行った。	募集実績	5,354千円																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>件数</th><th>実績額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通社資</td><td>6,706件</td><td>3,353,500円</td></tr> <tr> <td>特別社資</td><td>13件</td><td>37,000円</td></tr> <tr> <td>法人社資</td><td>4件</td><td>40,000円</td></tr> <tr> <td>寄付金</td><td>区 個人</td><td>1,396,600円 527,250円</td></tr> <tr> <td>合計</td><td></td><td>5,354,350円</td></tr> </tbody> </table>	種別	件数	実績額	普通社資	6,706件	3,353,500円	特別社資	13件	37,000円	法人社資	4件	40,000円	寄付金	区 個人	1,396,600円 527,250円	合計		5,354,350円	実施日時	5月																																																							
種別	件数	実績額																																																																										
普通社資	6,706件	3,353,500円																																																																										
特別社資	13件	37,000円																																																																										
法人社資	4件	40,000円																																																																										
寄付金	区 個人	1,396,600円 527,250円																																																																										
合計		5,354,350円																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>事業の名称</th><th>新規・継続</th><th>事業形態</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>49-50</td><td>赤い羽根共同募金募集事業</td><td>継続</td><td>他の事業</td></tr> <tr> <td></td><td>10月1日より全国一斉に実施される共同募金募集を合志支会が実施し 本会が事務対応をした。 合志市目標額(7,140,000円)に対して97%の実績があつた。</td><td>募集実績</td><td>6,924千円</td></tr> <tr> <td></td><td><table border="1"> <thead> <tr> <th>募金種別</th><th>件数</th><th>実績額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td><td>11,441件</td><td>5,645,406円</td></tr> <tr> <td>個人募金</td><td>4件</td><td>26,000円</td></tr> <tr> <td>法人募金</td><td>58件</td><td>416,000円</td></tr> <tr> <td>職域募金</td><td>9件</td><td>241,750円</td></tr> <tr> <td>イベント募金</td><td>2件</td><td>14,651円</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>58件</td><td>450,387円</td></tr> <tr> <td>歳末たすけあい</td><td>2件</td><td>129,939円</td></tr> <tr> <td>合計</td><td></td><td>6,924,133円</td></tr> </tbody> </table></td><td>実施日時</td><td>10月～12月</td></tr> <tr> <td></td><td><table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>事業の名称</th><th>新規・継続</th><th>事業形態</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>51</td><td>地域配分事業 老人福祉活動事業</td><td>継続</td><td>共同募金配分金</td></tr> <tr> <td></td><td>歳末たすけあい運動の一環として、民生委員・ボランティア協力校などの参加・協力のもと、80歳以上一人暮らし高齢者等479人を対象に年末の防災・防犯の声掛けと共に小学生からのメッセージカードや記念品を持参し、訪問した。記念品のウエットティッシュ、マスクの購入費用として、枝番49「赤い羽根共同募金推進月間強化事業」のうちの、地域歳末たすけあい募金を活用した。</td><td>実施日時</td><td>12月</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>実施場所</td><td>要支援世帯</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>対象者</td><td>80歳以上 独居高齢者等</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>人 数</td><td>479人</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>事業費</td><td>148千円</td></tr> </tbody> </table></td><td>実施日時</td><td>12月</td></tr> </tbody> </table>	番号	事業の名称	新規・継続	事業形態	49-50	赤い羽根共同募金募集事業	継続	他の事業		10月1日より全国一斉に実施される共同募金募集を合志支会が実施し 本会が事務対応をした。 合志市目標額(7,140,000円)に対して97%の実績があつた。	募集実績	6,924千円		<table border="1"> <thead> <tr> <th>募金種別</th><th>件数</th><th>実績額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td><td>11,441件</td><td>5,645,406円</td></tr> <tr> <td>個人募金</td><td>4件</td><td>26,000円</td></tr> <tr> <td>法人募金</td><td>58件</td><td>416,000円</td></tr> <tr> <td>職域募金</td><td>9件</td><td>241,750円</td></tr> <tr> <td>イベント募金</td><td>2件</td><td>14,651円</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>58件</td><td>450,387円</td></tr> <tr> <td>歳末たすけあい</td><td>2件</td><td>129,939円</td></tr> <tr> <td>合計</td><td></td><td>6,924,133円</td></tr> </tbody> </table>	募金種別	件数	実績額	戸別募金	11,441件	5,645,406円	個人募金	4件	26,000円	法人募金	58件	416,000円	職域募金	9件	241,750円	イベント募金	2件	14,651円	その他	58件	450,387円	歳末たすけあい	2件	129,939円	合計		6,924,133円	実施日時	10月～12月		<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>事業の名称</th><th>新規・継続</th><th>事業形態</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>51</td><td>地域配分事業 老人福祉活動事業</td><td>継続</td><td>共同募金配分金</td></tr> <tr> <td></td><td>歳末たすけあい運動の一環として、民生委員・ボランティア協力校などの参加・協力のもと、80歳以上一人暮らし高齢者等479人を対象に年末の防災・防犯の声掛けと共に小学生からのメッセージカードや記念品を持参し、訪問した。記念品のウエットティッシュ、マスクの購入費用として、枝番49「赤い羽根共同募金推進月間強化事業」のうちの、地域歳末たすけあい募金を活用した。</td><td>実施日時</td><td>12月</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>実施場所</td><td>要支援世帯</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>対象者</td><td>80歳以上 独居高齢者等</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>人 数</td><td>479人</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>事業費</td><td>148千円</td></tr> </tbody> </table>	番号	事業の名称	新規・継続	事業形態	51	地域配分事業 老人福祉活動事業	継続	共同募金配分金		歳末たすけあい運動の一環として、民生委員・ボランティア協力校などの参加・協力のもと、80歳以上一人暮らし高齢者等479人を対象に年末の防災・防犯の声掛けと共に小学生からのメッセージカードや記念品を持参し、訪問した。記念品のウエットティッシュ、マスクの購入費用として、枝番49「赤い羽根共同募金推進月間強化事業」のうちの、地域歳末たすけあい募金を活用した。	実施日時	12月			実施場所	要支援世帯			対象者	80歳以上 独居高齢者等			人 数	479人			事業費	148千円	実施日時	12月
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																																									
49-50	赤い羽根共同募金募集事業	継続	他の事業																																																																									
	10月1日より全国一斉に実施される共同募金募集を合志支会が実施し 本会が事務対応をした。 合志市目標額(7,140,000円)に対して97%の実績があつた。	募集実績	6,924千円																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>募金種別</th><th>件数</th><th>実績額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td><td>11,441件</td><td>5,645,406円</td></tr> <tr> <td>個人募金</td><td>4件</td><td>26,000円</td></tr> <tr> <td>法人募金</td><td>58件</td><td>416,000円</td></tr> <tr> <td>職域募金</td><td>9件</td><td>241,750円</td></tr> <tr> <td>イベント募金</td><td>2件</td><td>14,651円</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>58件</td><td>450,387円</td></tr> <tr> <td>歳末たすけあい</td><td>2件</td><td>129,939円</td></tr> <tr> <td>合計</td><td></td><td>6,924,133円</td></tr> </tbody> </table>	募金種別	件数	実績額	戸別募金	11,441件	5,645,406円	個人募金	4件	26,000円	法人募金	58件	416,000円	職域募金	9件	241,750円	イベント募金	2件	14,651円	その他	58件	450,387円	歳末たすけあい	2件	129,939円	合計		6,924,133円	実施日時	10月～12月																																														
募金種別	件数	実績額																																																																										
戸別募金	11,441件	5,645,406円																																																																										
個人募金	4件	26,000円																																																																										
法人募金	58件	416,000円																																																																										
職域募金	9件	241,750円																																																																										
イベント募金	2件	14,651円																																																																										
その他	58件	450,387円																																																																										
歳末たすけあい	2件	129,939円																																																																										
合計		6,924,133円																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>事業の名称</th><th>新規・継続</th><th>事業形態</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>51</td><td>地域配分事業 老人福祉活動事業</td><td>継続</td><td>共同募金配分金</td></tr> <tr> <td></td><td>歳末たすけあい運動の一環として、民生委員・ボランティア協力校などの参加・協力のもと、80歳以上一人暮らし高齢者等479人を対象に年末の防災・防犯の声掛けと共に小学生からのメッセージカードや記念品を持参し、訪問した。記念品のウエットティッシュ、マスクの購入費用として、枝番49「赤い羽根共同募金推進月間強化事業」のうちの、地域歳末たすけあい募金を活用した。</td><td>実施日時</td><td>12月</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>実施場所</td><td>要支援世帯</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>対象者</td><td>80歳以上 独居高齢者等</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>人 数</td><td>479人</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>事業費</td><td>148千円</td></tr> </tbody> </table>	番号	事業の名称	新規・継続	事業形態	51	地域配分事業 老人福祉活動事業	継続	共同募金配分金		歳末たすけあい運動の一環として、民生委員・ボランティア協力校などの参加・協力のもと、80歳以上一人暮らし高齢者等479人を対象に年末の防災・防犯の声掛けと共に小学生からのメッセージカードや記念品を持参し、訪問した。記念品のウエットティッシュ、マスクの購入費用として、枝番49「赤い羽根共同募金推進月間強化事業」のうちの、地域歳末たすけあい募金を活用した。	実施日時	12月			実施場所	要支援世帯			対象者	80歳以上 独居高齢者等			人 数	479人			事業費	148千円	実施日時	12月																																													
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																																									
51	地域配分事業 老人福祉活動事業	継続	共同募金配分金																																																																									
	歳末たすけあい運動の一環として、民生委員・ボランティア協力校などの参加・協力のもと、80歳以上一人暮らし高齢者等479人を対象に年末の防災・防犯の声掛けと共に小学生からのメッセージカードや記念品を持参し、訪問した。記念品のウエットティッシュ、マスクの購入費用として、枝番49「赤い羽根共同募金推進月間強化事業」のうちの、地域歳末たすけあい募金を活用した。	実施日時	12月																																																																									
		実施場所	要支援世帯																																																																									
		対象者	80歳以上 独居高齢者等																																																																									
		人 数	479人																																																																									
		事業費	148千円																																																																									

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
52-57	地域配分事業 障害者福祉活動 1、障がい児療育サロン 障がいがある子どもや家族の交流、情報交換の場として実施した。 実施回数4回、参加者72人、ボランティア数8人 2、おもちゃ図書館 音楽遊び等を通して交流や体験の積み重ね活動を実施した。 実施回数12回、参加者137人、ボランティア数21人 3、視覚障がい者情報提供支援事業(音声訳) 社協だより、市広報、議会だよりを音訳ボランティアにより毎月音訳し登録者及び市福祉課、図書館等にCD・テープを置いた。登録9人、提供8施設 4、音声訳録音機整備 デジタル化により機器購入と県センターからの導入研修会を実施した。 5、レインボーシアター 東日本大震災で被災された障害者の方をテーマのドキュメンタリー映画を上映した。その後復興支援に向けた音楽会を実施した。参加者72名	継続	共同募金配分金
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
58-63	地域配分事業 児童青少年福祉活動 1、児童生徒のワークキャンプ 夏休み期間に小学・中学・高校、それぞれ実施し延38人が参加した。 2、子育てサロン 実施箇所 7か所 対象者 1723人 関係者 506人 年間実施回数 82回 3、自然交流ドロリンピック 参加者137名 4、アグリッコクラブ 実施回数12回 保護者91名 子ども105名 ボランティア84名 計280人 5、ボランティア協力校(13校) 生徒数6337人 ボランティア委員会設置数9校	継続	共同募金配分金
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
71	地域福祉推進助成(ひとり暮らし高齢者の集い) 介護状態に至る要素に閉じこもりがあげられる。一人暮らし高齢者は社会的に孤立状態にあると言われており、また、そのことが閉じこもりを助長させる要因でもある。併せて身体的な衰えなどから外出もおっくうになりがちである。そこで、同じ境遇にある一人暮らし高齢者同士の交流を通じて、なじみの関係をつくり、また、自立生活の助長を目的に本事業を実施した。 ・東部地区11/18(火)参加者+関係者 97人(みどり館) ・西部地区11/17(月)参加者+関係者 90人(老人憩の家) (内容)・保育園児との交流・演芸会(民生委員・参加者を交えてのレクリエーション)・食事会、お楽しみ抽選会等	継続	独自事業
		実施日時	11/17(月)西部 11/18(火)東部
		実施場所	みどり館 老人憩の家
		対象者	一人暮らし高齢者
		人 数	187人
		事業費	257千円

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
76	地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)	継続	独自事業
	認知症高齢者や知的障害者、精神障害者など判断能力が十分でない方を対象に、利用者との契約に基づき、地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用援助を中心として、日常的な金銭管理サービス、重要書類の預かり等の支援を実施した。	実施日時	通年
	・契約者数5名 (認知症高齢者3名、知的障害者1名、精神障害者1名)	対象者	判断能力が十分でない方
	・相談件数336件	事業費	2,025千円
	・新規利用相談人数10人		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
78-82	安心生活支え愛事業	継続	合志市受託事業
	住み慣れた地域において安心した生活を営むことができるよう、一人暮らし高齢者等への生活支援を目的とした基盤整備(見守りや買い物支援を行うための市民参加の支援システム)を行い、地域で安心して暮らせるための仕組みづくりを実施。中学校区ごとにコーディネーターを配置した。	事業費	16,745千円
	支援を必要とする人とそのニーズを把握する活動	実施日時	通年
	・地域福祉座談会の実施 武蔵野台区 6/12(木)武蔵野台区公民館 参加32人 南陽区 8/22(金)南陽区公民館 参加者33人 中林区 2/17(火)中林区公民館 参加者32人	対象者	市民全般
	・生活課題を抱える人の実態把握(生活課題調査)		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
84-86	安心生活支え愛事業2 ぽっかぽかサポート、安心ほっとライン	継続	合志市受託事業
	基盤支援を必要とする人々がもれなくカバーされる体制について、「安心生活サポート事業」(通称:ぽっかぽかサポート)の運営継続及び団体登録の推進、登録者の訪問(毎月)等を行った。また、緊急時の見守り体制の強化としてひとり暮らしの高齢者等に「命のバトン」(通称:安心ほっとライン)の配布、設置を引き続き行うとともに、歳末の見守り事業と併せて、ひとり暮らしの対象者の情報更新を実施した(民生委員児童委員との協働)	事業費	(16,745千円)
	・ぽっかぽかサポート登録(27年3月末) 利用会員280人 協力会員202人 団体登録8団体	実施日時	通年
	・安心ほっとライン配布・設置(新規+更新)1,533件	対象者	要援護者

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
80	安心生活支え愛事業3 生活支援センター設置(ふら～っとホーム太陽)	継続	独自事業
	南ヶ丘生活支援センター「ひかり」内に“ふら～っとホーム太陽”において、新たな相談窓口、また“ぽっかぽかサポート”的地域拠点(出先機関)として、引き続き運営を実施した。具体的には社協地域サポートー(エグゼクティブ・サポートー)リーダーに毎週水曜日 10:00～12:00まで、地域住民からの様々な相談に応じるというもの。また、担当地区である合志中学校区の“ぽっかぽかサポート”利用会員に対して「お元気コール」と称し、安否確認やお困りごと相談を電話にて行っている。 菊池郡市の行政書士会ともタイアップし、毎月第一水曜日には合同で「行政書士による相談日」を開設している。 ・お元気コール 362件 ・社協連携件数 16件 ・行政書士相談 5件 ・安心ほっとライン配布数 93件	事 業 費	(16,745千円)
		実 施 日 時	毎週水曜日
		実 施 場 所	南ヶ丘生活支援センター「ひかり」
		対 象 者	合志南小・ 南ヶ丘小校区
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
87	生活・介護支援サポーター養成	継続	合志市受託事業
	地域の高齢者や障がい者等の生活ニーズに応える仕組みを安定的・継続的に構築するため、市民の主体性に基づき運営される新たな住民参加サービス等の担い手として地域サポーターの育成に努めた。平成21年度から継続的に受託し、この養成事業を契機にサポーター認定制度(エグゼクティブ、スーパー)を取り入れ、当該サポーターの啓発と地域での積極的活動へ促進を図った。	事 業 費	864千円
		実 施 日 時	左記記載
		実 施 場 所	ふれあい館 福祉会館
		対 象 者	一般住民 家族介護者等
		人 数	74人
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
82-83	認知症地域支援体制構築等整備	継続	合志市受託事業
88-89	認知症理解啓発、ネットワーク構築		
	認知症高齢者等と家族を支えるため、認知症への対応(予防、早期発見、ケア等)を行うマンパワーや拠点などの「地域資源」をネットワーク化し、相互連携を図りながら有効な支援体制の構築を目的に実施した。 ・認知症サポーターの養成 認知症の方との関わり方や、地域の中で認知症の方が穏やかに生活し続けていけるためにできることを考えるきっかけとして、住民・こども・子育て親子・企業に「にわか劇」や人形劇等を用いて実施した。 実施回数・養成数／14回 917人	事 業 費	1,826千円
		実 施 日 時	通年
		実 施 場 所	公民館 福祉センター等
		対 象 者	市民全般

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
90-91	認知症地域支援体制構築等整備 支援組織化(ささえ愛隊)	継続	合志市受託事業
	養成した認知症サポーターの中から有志で登録をしていただいた方々を「ささえ愛隊」と名付けて、認知症の方を地域で支える活動を行う。主な活動としては、徘徊行動による行方不明者が出た際にメール配信を行い、見守り活動を行ってもらった。また、認知症啓発のための活動(事業所への啓発)や学習会・講演会に参加した。認知症の方を介護する家族向けに「心の絆」発行にも協力する。 ・研修会 7/22(火) 参加41人 「大地の里 えがお」「こうしの杜」 ・講演会 9/16(火) 参加60人 ケアサポート・メロン 元田真一氏	事 業 費 実 施 日 時 実 施 場 所 対 象 者 人 数	(1,826千円) 左記記載 大地の里えがお こうしの杜 市民全般 101人
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
92-93	認知症地域支援体制構築等整備 訓練、家族支援	継続	合志市受託事業
	認知症に対する正しい理解を促進し、支援の輪と認知症予防に関する知識の普及を目的に研修会及び映画上映会を実施した。 ・ボランティア・ささえ愛隊研修会／7/12(土)参加者108人 おじやめの会よりお手玉を使ったレクリエーション研修会 ・認知症予防啓発映画上映会／2/10(火)参加者350人 「ペコロスの母に会いにゆく」映画上映会 ・認知症の人の家族のつどい 医療機関(中山記念病院・菊池病院)や福祉施設(ヒューマンケア こうしの杜)の協力により、医師・看護師・精神保健福祉士等や、認知症コールセンター職員にも参加していただき身近なところで家族同士の情報交換の場となるつどいを定期的に開催した。 ・実施6回5/28、7/23、9/8、11/19、1/21、3/18 参加延べ89人 ・実施場所ふれあい館、こうしの杜、泉ヶ丘市民センター、福社会館	事 業 費 実 施 日 時 実 施 場 所 対 象 者 人 数	(1,826千円) 左記記載 ふれあい館 ヴィーブル ささえ愛隊 地域住民 458人
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
94-95	ボランティアセンター運営事業	継続	独自事業
	1、コーディネーター設置 地域のボランティア活動状況などを把握し、活動の継続や発展などを支援する視点でその促進に努めた。また、ボランティア活動に携わる人の知りたいと思っている情報を個別的に提供するといった視点からセンター事業を進めるとともに、安心して活動できるようボランティア活動保険の加入促進を実施した。 (ボランティアセンター・体験活動情報センター相談件数) ・相談件数 219 件 ・調整回数 597 回	実 施 日 時 実 施 場 所 対 象 者 事 業 費	通年 ふれあい館 市民全般 938千円

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態		
94-95 96-98	ボランティアセンター運営事業 ボランティア普及推進事業	継続	独自事業		
2、ボランティア地域活動支援 (ボランティア登録人数) ・個人登録者 80人 ・団体登録 95団体1,456人		実施日時	通年		
(ボランティア活動保険加入状況)		実施場所	—		
Aプラン 1,093人	Bプラン 20人	天災A 0人	天災B 8人	合計 1,121人	対象者 市民全般
3、機材貸付 地域住民が行う福祉活動の円滑な推進と、地域への福祉啓発・広報活動を行うため、活動用品の整備を図り広く貸与を行った。 ・総貸出件数160件(体験・地域イベント用具、レクリエーション用品等)		人 数 1,121人			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態		
65-67 99-100	災害時要援護者支援	継続	独自事業		
1、災害時ボランティアセンター設置訓練 ・10/17(金)一般市民向け講座/参加19名 講義 災害ボランティア活動とセンターの役割 ・10/17(金)職員向け講座/参加32名 講義 災害時の社協の役割 訓練シミュレーション演習 ・10/26 模擬訓練・土のう体験/参加47名 市防災訓練に合わせてセンター役割の模擬訓練		実施日時 左記記載			
2、災害時要援護者避難所設置訓練 ・3/15(日)福祉避難所運営訓練/参加16名、7施設		実施場所 ふれあい館 第一小学校			
		対象者 市民全般			
		人 数 114人			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態		
101-103 104-105	ボランティア組織支援事業 地域福祉推進啓発事業	継続	独自事業		
1、火の国ボランティアフェスティバル ・11/22(土)～23(日)菊池文化ホール 参加850人(うち合志市200人) 県大会を菊池地域で実施し、当日までの実行委員会3回、運営委員会3回 作業部会17回の企画により盛大に実施した。		実施日時 左記記載			
2、ボランティア連絡協議会 多種多様なボランティアが、それぞれの活動分野から一步前進してお互いに協力、理解、連携しあうために自主的な活動を行う連絡協議会の活動が円滑に行われるよう協力・支援した。 ・役員会 11回 ・ボランティア交流会 206人		対象者 市民全般			
3、ふれあいフェスティバル 市民に社協活動に対する理解をより深めてもらうため、「オモイカタルバ～自分ば・周囲ば・地域ば素敵にかわるために～」をテーマに実施した。 ・参加者999人					

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
106	地域福祉連絡協議会設置推進 地域の福祉課題や福祉活動の状況の把握、行政や各地協間の連携を推進するため、5つの地域福祉連絡協議会の代表者会議を7月と3月に行つた。 (構成メンバー) 区長、民生委員、老人クラブ、ボランティア、学識経験者等	継続	独自事業
		実施日時	通年
		実施場所	各コミュニティセンター
	項目 須屋 黒石 中央 野々島 合生 自治会数 8区 7区 8区 12区 10区 会員数 73人 41人 60人 43人 33人 高齢者サロン 7ヵ所 3ヵ所 5ヵ所 5ヵ所 1ヵ所 こどもサロン 1ヵ所 2ヵ所 1ヵ所 - - 交流会回数 4回 2回 2回 2回 2回 訪問活動 ○ ○ ○ ○ ○	対象者	市民全般
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
107	小地域ネットワーク (見守りネットワークの状況) 少子高齢化、核家族の増加など家族構造も多様化し、都市化による近隣の付き合いが希薄になってきている現状がある。住みなれた地域で自立生活を送るために、地域の福祉問題を解決するためにフォーマル・インフォーマルの資源と連携し活用するネットワークが不可欠になり、近隣住民がボランティア活動を展開していくことが課題となってくる。現在西部地区においては5ヵ所の地域にて、高齢者やこどもたちのネットワーク活動やボランティア活動を支えるため自主的に組織化している。また東部地区においては地域サロンを中心に小地域(行政区)で取り組むことを目的とし活動されている。	継続	独自事業
		実施日時	通年
		実施場所	各地協・サロン ・行政区等
		対象者	市民全般
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
108	要援護者支援システム 地域内の見守り活動を推進しながら、災害等の緊急時に情報を関係機関や団体と共有し迅速に支援活動ができるように、より活用しやすいようなプログラムづくりに取り組みシステムの整備を行った。職員による訪問と併せ、民生児童委員と連携し、要援護者の情報収集に取り組んだ。運用に際しては市・担当課の福祉課と綿密な連携のもと実施した。 (整備内容) <ul style="list-style-type: none">・要援護者の台帳管理・緊急性が高い要援護者の調査<ul style="list-style-type: none">・市指定の広域避難所と最寄りの二次避難所に関する調査・支援者の登録内容確認・避難所への避難経路の確認・関連団体の情報検索・安心生活支え愛事業と連動し、基本的な支援ツールとして整備	継続	合志市受託事業
		実施日時	通年
		実施場所	ふれあい館
		対象者	要援護者 ・サポーター

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
109-113	児童福祉推進 1、父親ネットワーク 2、子どもボランティア育成 3、地域の遊び場プレーパーク 4、中高生の居場所づくり 居場所づくりの名称を「オモイカタルバ」とし、居場所づくりや中高生のボランティア活動を実施。打合せ・スタッフ会議39回 イベント・行事回数 8回 参加者計135人 5、ドロリンピック ・参加者137名	継続	独自事業
		実施日時	通年
		実施場所	プレーパーク等
		対象者	市民全般
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
116-117	地域住民グループ支援事業 地域住民と協働し閉じこもりがちな高齢者を対象に参加しやすい地域内の公民館等に「つどいの場所」を設置することで、仲間づくりと閉じこもり防止や福祉問題の早期発見につなげるなど介護予防効果と住民同士の交流促進から互いに見守り、支えあえる地域づくりを推進するために実施した。 また、サロン支援ボランティアの育成を目的に年3回(7月、2月、3月)に認知症支援やレクレーション等についての研修会を実施した。	継続	合志市受託事業
		実施日時	通年
		実施場所	各公民館等
		対象者	要支援者
		人 数	9,823人
		事業費	9,250千円
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
118-120	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちな一人暮らし高齢者等に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図ることを目的に実施した。	継続	合志市受託事業
		実施日時	6月～3月
		実施場所	左記記載
		対象者	65歳以上の方
		人 数	857人
		事業費	2,078千円

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
121	高齢者地域支援体制整備・評価事業 高齢者等の日常生活上の様々な悩みや相談に応じ、適切な助言、援助を行い、地域住民の福祉の増進を図ることを目的に総合相談を実施した。	継続	合志市受託事業																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>相談項目</th><th>件数</th><th>割合</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 財産</td><td>110件</td><td>29%</td><td>遺言、遺産相続、登記など</td></tr> <tr> <td>2 法律</td><td>52件</td><td>14%</td><td>保証人、養子縁組その他</td></tr> <tr> <td>3 結婚</td><td>48件</td><td>12%</td><td>離婚条件、手順、養育費など</td></tr> <tr> <td>4 家族</td><td>37件</td><td>10%</td><td>家庭不和、扶養問題など</td></tr> <tr> <td>5 上記以外</td><td>136件</td><td>35%</td><td>生計、住宅、職業・生業など</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>383件</td><td>-</td><td></td></tr> </tbody> </table>	相談項目	件数	割合	備考	1 財産	110件	29%	遺言、遺産相続、登記など	2 法律	52件	14%	保証人、養子縁組その他	3 結婚	48件	12%	離婚条件、手順、養育費など	4 家族	37件	10%	家庭不和、扶養問題など	5 上記以外	136件	35%	生計、住宅、職業・生業など	合計	383件	-		実施日時 毎月3回 (1日、10日、20日)	
相談項目	件数	割合	備考																												
1 財産	110件	29%	遺言、遺産相続、登記など																												
2 法律	52件	14%	保証人、養子縁組その他																												
3 結婚	48件	12%	離婚条件、手順、養育費など																												
4 家族	37件	10%	家庭不和、扶養問題など																												
5 上記以外	136件	35%	生計、住宅、職業・生業など																												
合計	383件	-																													
		実施場所 左記記載	対象者 市民全般																												
		人數 363人	事業費 740千円																												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
122-123	家族介護者交流事業 現に居宅で寝たきりの高齢者や障がい者(児)等の介護をされている方を対象に、介護から一時的に開放し日帰り旅行などを活用した交流会を開催し、日頃の悩みや体験を共有・交流し介護疲れを癒し心身のリフレッシュを図っていただくことを目的に2コース実施した。 ・家族一緒コース(要介護者+家族)10/10(金)参加 14 人 山都町方面(清和文楽館、通潤橋、清和酒造等) ・介護者のみコース(介護者家族)3/4(水)参加 8 人 荒尾・玉名方面(万田坑、ホテルヴェルデ、蓮華院、しらさぎの足湯等)	継続	合志市受託事業																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の名称</th><th>新規・継続</th><th>事業形態</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>122-123 家族介護者交流事業 現に居宅で寝たきりの高齢者や障がい者(児)等の介護をされている方を対象に、介護から一時的に開放し日帰り旅行などを活用した交流会を開催し、日頃の悩みや体験を共有・交流し介護疲れを癒し心身のリフレッシュを図っていただくことを目的に2コース実施した。 ・家族一緒コース(要介護者+家族)10/10(金)参加 14 人 　　山都町方面(清和文楽館、通潤橋、清和酒造等) ・介護者のみコース(介護者家族)3/4(水)参加 8 人 　　荒尾・玉名方面(万田坑、ホテルヴェルデ、蓮華院、しらさぎの足湯等)</td><td>事業費 347千円</td><td>実施日時 10月10日、3月4日</td></tr> <tr> <td></td><td>実施場所 左記記載</td><td>対象者 要介護者及び家族</td></tr> <tr> <td></td><td>人數 22人</td><td></td></tr> </tbody> </table>	事業の名称	新規・継続	事業形態	122-123 家族介護者交流事業 現に居宅で寝たきりの高齢者や障がい者(児)等の介護をされている方を対象に、介護から一時的に開放し日帰り旅行などを活用した交流会を開催し、日頃の悩みや体験を共有・交流し介護疲れを癒し心身のリフレッシュを図っていただくことを目的に2コース実施した。 ・家族一緒コース(要介護者+家族)10/10(金)参加 14 人 山都町方面(清和文楽館、通潤橋、清和酒造等) ・介護者のみコース(介護者家族)3/4(水)参加 8 人 荒尾・玉名方面(万田坑、ホテルヴェルデ、蓮華院、しらさぎの足湯等)	事業費 347千円	実施日時 10月10日、3月4日		実施場所 左記記載	対象者 要介護者及び家族		人數 22人		事業費 347千円	実施日時 10月10日、3月4日																
事業の名称	新規・継続	事業形態																													
122-123 家族介護者交流事業 現に居宅で寝たきりの高齢者や障がい者(児)等の介護をされている方を対象に、介護から一時的に開放し日帰り旅行などを活用した交流会を開催し、日頃の悩みや体験を共有・交流し介護疲れを癒し心身のリフレッシュを図っていただくことを目的に2コース実施した。 ・家族一緒コース(要介護者+家族)10/10(金)参加 14 人 山都町方面(清和文楽館、通潤橋、清和酒造等) ・介護者のみコース(介護者家族)3/4(水)参加 8 人 荒尾・玉名方面(万田坑、ホテルヴェルデ、蓮華院、しらさぎの足湯等)	事業費 347千円	実施日時 10月10日、3月4日																													
	実施場所 左記記載	対象者 要介護者及び家族																													
	人數 22人																														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
124-125	認知症予防事業 脳いきいき教室、認知症予防パソコン教室を認知症の予防と学習活動を通じた交流の促進、生きがい作りの場として実施した。また、地域版として脳いきいき教室修了者へ継続的な学習の場を2箇所開設し、地域のより身近な場所で開催する事が、地域で支え合い見守りあえる関係を築くきっかけとなるよう働きかけた。	継続	合志市受託事業																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th></th><th>ふれあい館</th><th>須屋(地域版)</th><th>みどり館(地域版)</th><th>パソコン教室</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">学習者</td><td>実人数</td><td>20人</td><td>17人</td><td>21人</td><td>14人</td></tr> <tr> <td>延人数</td><td>317人</td><td>304人</td><td>375人</td><td>195人</td></tr> <tr> <td rowspan="2">サポーター</td><td>実人数</td><td>18人</td><td>12人</td><td>19人</td><td>11人</td></tr> <tr> <td>延人数</td><td>232人</td><td>142人</td><td>246人</td><td>85人</td></tr> </tbody> </table>			ふれあい館	須屋(地域版)	みどり館(地域版)	パソコン教室	学習者	実人数	20人	17人	21人	14人	延人数	317人	304人	375人	195人	サポーター	実人数	18人	12人	19人	11人	延人数	232人	142人	246人	85人	事業費 3,723千円	実施日時 通年
		ふれあい館	須屋(地域版)	みどり館(地域版)	パソコン教室																										
学習者	実人数	20人	17人	21人	14人																										
	延人数	317人	304人	375人	195人																										
サポーター	実人数	18人	12人	19人	11人																										
	延人数	232人	142人	246人	85人																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th></th><th>ふれあい館</th><th>須屋(地域版)</th><th>みどり館(地域版)</th><th>パソコン教室</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">学習者</td><td>実人数</td><td>20人</td><td>17人</td><td>21人</td><td>14人</td></tr> <tr> <td>延人数</td><td>317人</td><td>304人</td><td>375人</td><td>195人</td></tr> <tr> <td rowspan="2">サポーター</td><td>実人数</td><td>18人</td><td>12人</td><td>19人</td><td>11人</td></tr> <tr> <td>延人数</td><td>232人</td><td>142人</td><td>246人</td><td>85人</td></tr> </tbody> </table>			ふれあい館	須屋(地域版)	みどり館(地域版)	パソコン教室	学習者	実人数	20人	17人	21人	14人	延人数	317人	304人	375人	195人	サポーター	実人数	18人	12人	19人	11人	延人数	232人	142人	246人	85人	実施場所 左記記載	対象者 65歳以上の方
		ふれあい館	須屋(地域版)	みどり館(地域版)	パソコン教室																										
学習者	実人数	20人	17人	21人	14人																										
	延人数	317人	304人	375人	195人																										
サポーター	実人数	18人	12人	19人	11人																										
	延人数	232人	142人	246人	85人																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th></th><th>ふれあい館</th><th>須屋(地域版)</th><th>みどり館(地域版)</th><th>パソコン教室</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">学習者</td><td>実人数</td><td>20人</td><td>17人</td><td>21人</td><td>14人</td></tr> <tr> <td>延人数</td><td>317人</td><td>304人</td><td>375人</td><td>195人</td></tr> <tr> <td rowspan="2">サポーター</td><td>実人数</td><td>18人</td><td>12人</td><td>19人</td><td>11人</td></tr> <tr> <td>延人数</td><td>232人</td><td>142人</td><td>246人</td><td>85人</td></tr> </tbody> </table>			ふれあい館	須屋(地域版)	みどり館(地域版)	パソコン教室	学習者	実人数	20人	17人	21人	14人	延人数	317人	304人	375人	195人	サポーター	実人数	18人	12人	19人	11人	延人数	232人	142人	246人	85人	人數 左記記載	
		ふれあい館	須屋(地域版)	みどり館(地域版)	パソコン教室																										
学習者	実人数	20人	17人	21人	14人																										
	延人数	317人	304人	375人	195人																										
サポーター	実人数	18人	12人	19人	11人																										
	延人数	232人	142人	246人	85人																										

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
126-128	家族介護者教室	継続	合志市受託事業
	介護に対する関心を深め、介護が必要になつても安心して暮らせる地域づくりのための講習会や、在宅高齢者・障がい者を介護している家族に対し介護方法や介護者の健康づくり等についての知識・技術の習得と家族による介護負担の軽減ための教室を開催した。	事 業 費	654千円
	・安心できる在宅介護／食事・排泄・移乗移動等 前期:8/7(木) 13人　　後期:12/5(金) 18人	実 施 日 時	左記記載
	・あわてない！あなたにできる緊急時の対応／救急救命・AED等 前期:8/21日(木) 23人　後期:12/19日(金) 23人	実 施 場 所	福祉会館 ふれあい館
	・あなたを守る福祉制度／介護保険、地域福祉事業等 前期:9/4(木) 12人　　後期:1/23(火) 10人	対 象 者	介護者・一般
		人 数	延べ99人
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
129	合志地区総合相談支援事業	継続	合志市受託事業
	福社会館を拠点に相談所を開設し、福祉に関する各種相談を実施した。さらに福祉会館機能が(特に合志地区の市民にとって)身近な相談場所となるように各種団体・機関と連携を図った。	事 業 費	2,690千円
	・通常相談 火曜～金曜 来所相談 75件、電話相談 880件、訪問相談 117件、他機関調整 305件	実 施 日 時	通年
	・福祉専門相談 毎月第3水曜日 介護相談(介護支援専門員)0件、障がいに関する相談(身障協、虹の会、オリーブの会)3件、子育てに関する相談(母子会)2件、福祉行政相談(合志市)1件、就労支援相談(生活支援センター)0件、福祉用具・住宅改修相談(福祉用具事業所)1件	実 施 場 所	福祉会館
		対 象 者	市民

職員数は平成27年1月1日現在

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
こども支援センター		10 人	17 人	27 人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

子ども子育て支援新制度に向けて、子育て就労家庭の支援を意識し、放課後健全育成事業対象を小学6年生までとする調整や妊娠中から子育てまで切れ目のない支援となるよう、あかちゃんひろば「ぴよぴよ」に子育てが初めてのプレパパ・プレママの参加促進や育児負担がある多胎児家庭に対する支援について取り組んだ。

産前・産後の体調不良や多胎児の育児は、身体的や精神的に支援を必要とする現状から、養成した「にこにこツインズサポーター」が、ニーズに合わせた家事や育児の支援を市と協議を行いファミリーサポート事業で開始することができた。合志市の特徴として稼働世帯の転入や地域のつながりが希薄化し、近くに頼れる人がいない子育て世帯の困りごとに住民と協働して必要な支援につなぐことができたことは、委託事業を通して社協らしい支援の実施に繋がった。ファミリーサポート事業の年間利用件数は減少しているが、この要因は保育所・学童保育や障害児支援等の保育サービスの充実によるものと考えられる。しかし、依然として県下でも活動件数は多く、様々な保育ニーズや緊急な対応を住民の支えあいを基盤に柔軟に対応でき、地域の中で子育て支援につながっている。

放課後健全育成事業では、20時までの預かりを継続し、年度途中に家庭状況が変わり、緊急支援が必要な児童についても柔軟に対応することで、子育てと仕事の両立支援を行うことができた。

地域子育て支援センターでは、転入者が多く知り合いのいないところで子育てをする親子が孤立しないように参加しやすい集いの場を提供、地域サロン推進やベビープログラムの実施、多胎児のあつまり「にこにこツインズ」などを開催することで親子が育ちあえるような支援を実施した。

児童センター事業は、年長児童の参加促進のため音楽活動やボランティア活動の場を提供し、今年度も福祉や保育関係へ進学、就職してからも来館しボランティア活動につながるなどの効果がみられた。

2 業務を推進していく場合の課題

合志市の子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケートでも就学前の子どもをもつ家庭の14%が「日頃みでもらえる親族・知人がいない」と答えており、支援が必要な時に地域の方が支えてくれるファミリーサポートの協力会員の養成や子どもが病気時にも会員が預かりやすい環境の整備も課題である。また、3.3%が「気軽に相談できる人がいない。」84.2%が「子育て支援事業を利用していない。」と答えておられ事業の周知不足は否めない。家庭の中で子育てる特に就園前の親子が足を運びやすく、気軽に相談できる場所づくりを行い、子育てが楽しいと思えるような子育ち支援の環境を地域と共に整えることが課題である。

3 今後の方針性

合志市の特徴である稼働世帯の転入(核家族)やこれに伴う地域のつながりの希薄化、共働きやこどもを巻き込む犯罪の増加、児童虐待の深刻化など子どもの育ち環境が変化している中、子育て世帯が抱える悩みや多様な保育ニーズを的確に捉え、子どもの発達のためにトータルに支援できる職員のスキルアップの強化を行う。

また、初めての子育てに戸惑いや不安の中で、気兼ねなく相談する人や子どもを預けるところがないことから深刻な悩みにつながり、生命をおびやかす虐待を未然に防げるよう、交流活動や集いの場を推進し、地域住民と共に子ども同士が育ちあい、住民支えあいの推進が委託事業を活用して地域にあった子育て支援の環境を整備し併せてこれらの事業の周知徹底を行う。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
130	あかちゃんひろば びよぴよ(0歳児)	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績)		事 業 費	地域子育て支援事業 10,966千円
0歳の子どもを持つ親子の集まる場をつくり、育児力を育てる目的に育児相談や情報交換、育児援助を行った。市外からの転入者が参加されることが多い、子育てをする親子が孤立しないように、子育て情報の提供や仲間づくりに特に力を入れ、ボランティアに託児の協力を得ることで、親同士の話がしやすいような配慮をすることができた。 初めて子育てをするプレママ・プレパパの参加促進のために妊婦さんへの周知も市役所の協力を得て実施した。		実 施 日 時	第3水曜日 10時30分～11時30分
<利用実績>		実 施 場 所	ふれあい館
・実施回数 12回		対 象 者	0歳～3歳
・利用者数 保護者79名、子ども88名、ボランティア47名		人 数	定員:1回8組 参加総数214名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
130	あそびのへや(0歳～3歳)	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績)		事 業 費	地域子育て支援事業
同年齢の子どもを持つ親子の集まる場をつくり、育児力を育てる目的に育児相談や情報交換、育児援助を行った。年齢ごとに開催することで、子育ての悩みも共有しやすく、特に0歳児親子の利用が増加している。		実 施 日 時	毎週水曜・第1・3・4月曜 10時30分～11時30分
<利用実績>		実 施 場 所	ふれあい館
○あそびのへや		対 象 者	0歳～3歳
・あか組(0歳) 毎週水曜日 実施回数37回 利用者数:保護者392名、子ども398名		人 数	自由参加 参加総数1,323名
・もも組(1.2歳) 第1・第3月曜日 実施回数19回 利用者数:保護者198名、子ども219名			
・みどり組(2. 3歳) 第4月曜日 実施回数11回 利用者数:保護者49名、子ども67名			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
130	にこにこツインズのつどい(ふたごちゃんのつどい)	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績)		事 業 費	地域子育て支援事業
同じ悩みをもつ家族同士の集いの場を提供し、仲間づくりや情報交換をしながら、育児不安を解消する力を育むことを目的に開催した。 子育てについての体験を互いに話すことで、自分の子育てに生かすことができ、ピアカウンセリングの効果もみられる。また、前年度に養成した‘にこにこツインズサポーター’に託児等の協力をいただくことで、安心して参加できる時間となった。		実 施 日 時	原則奇数月 第2月曜日10～12
<利用実績>		実 施 場 所	ふれあい館他
・実施回数 6回		対 象 者	多胎児をもつ保護者 (妊婦も含む)
・参加人数 保護者 32名 兄弟 6名 子ども 60名 ボランティア 22名		人 数	自由参加 参加総数120名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態		
131	わっこくらぶ	継続	合志市受託事業		
(事業の内容、実績)					
	親子の集まりを毎週実施し、子育て親子の閉じこもりを防ぐため、保護者のつながりができるようなきっかけづくりや身近な育児相談、地域の子育て関連の情報提供などを行った。活動はプログラム制とし、季節に合わせて様々な体験ができるように実施し、参加しやすい内容から選ぶことができるよう配慮した。今年度から開催場所を福祉会館と隔週で行うことにより、福祉会館の周知にもつながった。	事業費	地域子育て支援事業		
<利用実績>		実施日時	毎週木曜日 (第5週目は休み)		
・実施回数	50回	実施場所	ふれあい館・福祉会館		
・参加人数	保護者 1,253名・子ども 1,396名	対象者	就園前の親子		
		人 数	登録あり自由参加 参加総数 2,649名		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態		
132	子育てサロン事業	継続	他の事業		
(事業の内容、実績)		事業費	各サロンの助成金 259,920円(共同募金)		
	地域のボランティア、民生委員の方が中心となり、支えあい安心して子育てができるような地域を目指して開催した。最近は、地域とつながりをもちたい保護者も増加傾向にあり、サロン参加者が就園後にボランティアにつながっている。	実施日時	月1回程度、7か所		
<利用実績>		実施場所	公民館等		
サロン名	回数	保護者	子ども	ボランティア	合計
ぱおぞう(笹原)	12	74	116	60	250
ひよこサロン(東須屋)	10	44	62	69	175
コアラサロン(武蔵野台)	12	131	163	52	346
サロン愛(南須屋)	12	118	158	104	380
パンダサロン(杉並台)	12	144	187	59	390
こぐまサロン(新開)	12	129	147	81	357
めだかサロン(若原)	12	111	139	81	331
		対象者	就園前の親子		
		延利用人数	2,229名		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態		
133	子育てサークル育成事業	継続	合志市受託事業		
(事業の内容、実績)		事業費	各サークル助成金 75千円(共同募金)		
	子どもの社会性を育むための交流活動や保護者同士の情報交換、学習会などを実施する子育て中の親子が自主的に集まるグループに助成することで、地域の「子育て力」を高め、共に育ち合う豊かな子育てを応援する事を目的として事業を実施した。活動が円滑に行われるために助成金の整備、場所の提供、活動内容の相談及び協力、会員の紹介やつなぎ等を行った。また、ふれあいフェスティバルでは手作りマルシェの出店協力及び売上金から共同募金活動につながった。	対象者	3団体		
<利用実績>		実施場所	ふれあい館他		
○アリスくらぶ(就学前親子)、このゆびとまれ(就園前親子)		延参加人数	このゆびとまれ857名 アリスくらぶ1,202名 ハッピークッキング207名		
毎週、様々な遊びを通して地域の方と交流し、互いに助け合い、子育ての悩みや情報交換をしながら仲間を作り、子育てを楽しめる環境をつくるための自主組織として活動					
○ハッピークッキング(すべての子育て世帯)					
月1回、家族に安全なバランスのとれた食事を作ることを目的に食育活動					

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
134	子育て広報促進事業(相談含む)	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績)			
育児不安などの身近な相談の窓口として、登録受付相談コーナーを設置し、情報提供とともに情報誌の発行を行った。	事 業 費	地域子育て支援事業	
合志市保健師の赤ちゃん訪問事業と連携し、こども支援センター事業の一覧のチラシ配布を行う。妊婦さんへ周知のため、母子手帳配布の際、あかちゃんひろばのチラシを配布し周知促進を図る。	実 施 日 時	月～土	
<実績数>			
・こども支援センターだより 毎月1回発行	実 施 場 所	ふれあい館	
・ほっとライン 每月1回発行			
・ホームページ 常時掲載・更新	対 象 者	妊婦、子育て世帯	
・こども支援センターチラシ配布 毎回赤ちゃん訪問			
<相談実績数>			
・来所相談、コーディネート 5,757件	人 数	相談数 6,304件	
・電話 547件			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
135	地域子育てふれあい交流事業	継続	独自事業
(事業の内容、実績)			
乳幼児から高齢者、障がいを持った方や地域のボランティアなどと交流を促進した。孤立しがちな核家族の親子が異世代の交流を通してつながりをもち、大切なことの伝承や人とふれあうことで、互いに理解を深め、支えあう地域づくりを目的に実施した。	事 業 費	地域子育て支援事業	
<ふれあい交流運動会実績>	実 施 日 時	11月1日	
参加数:保護者40名 子ども32名 家族17名 ボランティア19名	実 施 場 所	ヴィーブル	
<デイサービス交流>	対 象 者	就園前の親子	
参加数:保護者 12名 子ども 15名			
	延 利 用 数	135名	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
136	地域子育て文化交流事業	継続	独自事業
(事業の内容、実績)			
乳幼児を持つ親子が気軽に音楽に触れる機会や文化的体験に参加して子育ての負担感をなくし子どもと一緒に楽しむ機会を地域住民の協力により実施した。	事 業 費	地域子育て支援事業 共同募金 他	
	実 施 回 数	7回	
	実 施 場 所	ふれあい館他	
	対 象 者	就園前の親子	
	延 利 用 数	392名	

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
137	子育て社会体験事業 就園前の子どもとその親が、外出などを通して集団の中で、様々な経験や自然体験をすることで社会性や感性を育てることを目的に実施した。年間を通して「ふれあい農園」でデイサービス高齢者や地域ボランティアの方と一緒に親子で農業体験活動を行うあぐりっこくらぶでは、農業体験を通して、作物を育てる喜びや、食に対する感謝の心を育むことができた。収穫した作物を調理し、食生活を見直す機会にもつながった。 <利用実績> ○あぐりっこくらぶ ※年間登録15組 ・実施回数 12回 ・参加者数 保護者91名、子ども105名、ボランティア 84名 ○野外活動(牧場体験) ・実施回数 2回 ・参加者数 保護者 28名、子ども34名	継続	独自事業
	事 業 費	地域子育て支援事業	
	実 施 日 時	4月～3月 第3火曜日	
	実 施 場 所	ふれあい農園 ふれあい館内(雨天時)	
	対 象 者	1歳6か月～就園	
	人 数	参加者総数342名	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
138	BP(親子の絆づくりプログラム事業)	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績)	初めて子育てをする親子が集まり、育児の喜びや困りごと、親としての迷いなどを話合いながら、親育ちのプログラムにより0歳時期に知っておきたい子育てに必要な知識を学び、自分にあった子育てについて考え、悩みの解決・まわりの助けを得ることに気づくことにつないだ。周知には、2か月訪問時に市役所保健師に協力していただき、チラシの配布をお願いした。	事 業 費	地域子育て支援事業
	実 施 日 時	年2回(5・10月)	
	実 施 場 所	ふれあい館	
	対 象 者	2～5ヵ月までの親子 1回10組	
	参 加 数	132名	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
138	講習会の実施	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績)	育児不安の解消を目的に食に関する講習や歯の教室を実施した。栄養士や歯科栄養士に、日頃聞けないことを質問し子育てに役立った。また、子育て親子にも認知症についての理解を深めるために認知症サポーター養成講座も開催した。 ○離乳食教室 ・実施回数 6回 ・参加者 保護者48名、子ども53名 ○歯の教室 ・実施回数 2回 ・参加者 保護者38名、子ども22名 ○認知症サポーター養成講座 ・実施回数 1回 ・参加者 保護者23名、子ども25名	事 業 費	地域子育て支援事業
	実 施 日 時	年9回	
	実 施 場 所	ふれあい館	
	対 象 者	各時期にあった親子	
	人 数	209名	

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
139	児童センター設置運営事業 (事業の内容、実績) 地域の子どもたちが健全な遊びを通じて、健康や体力を増進し、情操を豊かにしていくための施設として設置・運営した。 <開設日数>330日 <開設時間>午前8時30分～午後5時15分 <新規登録>こども 1,653名 大人 1,059名 <利用者数>幼児 5,917名 小学生 496名 中学生・高校生 86名 大人 4,230名 ゆうぎしつ・あそびにわ・ランチスペースの開放、児童図書の設置、おもちゃの貸出・管理等を行う。登録管理、子育て支援の情報提供、館内見回り、安全点検管理、月1回の避難訓練(火災・地震・不審者対策)及び業者による遊具点検を年2回程度行う。口コミなどで人気もあり、熊本県内広域に配布されている子育て情報誌のママネタ100選の人気のある施設として選ばれた。	継続	合志市受託事業 事 業 費 4,748千円 実 施 日 時 月曜日～日曜日(休館:祝日・年末年始・第4月曜日) 実 施 場 所 ふれあい館 対 象 者 0歳～18歳までの児童とその家族 利 用 数 13,441名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
140	児童厚生員の設置事業 (事業の内容、実績) 健全な遊びを通じ、児童の集団的指導または個人的指導を行い、母親クラブ等の地域組織の育成及び助長、地域児童の健全育成に関する事業を行うため児童厚生員を設置した。 <利用者数> ちよこっとタイム 1,602名 西児童館クラブ(地域組織活動育成事業)、こどもボランティア 2,384名 文化交流行事(クリスマス交流音楽祭、門松づくり、茶道体験等) 306名 ○月曜日～金曜日(木曜日を除く)に“ちよこっとタイム”として、読み聞かせ・体操、手遊び・ふれあい遊び等を行い、子育て相談を実施。 ○西児童館クラブ(地域組織活動育成事業)では、サークル活動運営・入会に関する相談支援等を実施。 ○季節の文化交流行事で地域の様々な異世代の方やボランティアの方との交流や出会いの場をつくった。	単年度	合志市受託事業 事 業 費 児童センター事業 実 施 日 時 開館日:月曜日～日曜日 330日 実 施 場 所 ふれあい館 対 象 者 0歳～18歳までの児童とその家族 利 用 数 4,292名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
141	体力増進活動 (事業の内容、実績) 運動やスポーツを通して心と体の健康づくりや意欲向上を図る。児童やその家族が健康・体力活動に取り組むことによって、ふれあい交流を促進し、家庭での健康づくりを推進するために事業を実施した。 <利用者数>ボクシングエクササイズ教室 70名 親子ランニング教室 17名 熊本ヴォルターズの選手とフリースロー対決 108名 熊本ヴォルターズの選手によるバスケット教室2回 64名 熊本県アマチュアボクシング連盟や熊本ヴォルターズの社会貢献活動事業とタイアップして事業を行う。熊本ヴォルターズのバスケット教室ではプロの方の技を見て、交流できるのも魅力で大変人気が高い。親子ランニング教室では、よかパパネットに所属する地域のお父さんに講師としてきていただいている。お父さんや家族みんなで参加されることも多い。その後の親子での体力増進活動につながっている。	継続	合志市受託事業 事 業 費 児童センター事業 実 施 日 時 土曜日や長期休暇中 実 施 場 所 ふれあい館、ヴィーブル元気の森 対 象 者 4歳以上～ 利 用 数 259名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
142	親と子の食事セミナー自然体験活動事業 (事業の内容、実績) 子どもの栄養改善と食を通じた心の健全育成を図るため、健全な食事環境を通じた家族団らんの大切さや食事の楽しさ等を学ぶため、食事に関する講習会(食事セミナー)を行うとともに、親子や親同士の交流事業を実施する目的で事業を実施。 <利用者数> たけのこ掘り&羽釜でクッキング 22名 たんぽであそぼう！どろりんピック2014 137名 敬老の日料理教室 12名 伝統行事『どんどや』を家族で体験 91名 竹山や田んぼ等を活用した、自然体験活動で、親と子が一緒に食を楽しんだ。羽釜を使ったごはん焼きや、田んぼでのどろんこ遊び後、食生活改善推進委員の協力のもと、お米の話をきいて食べるおにぎりは、毎年好評である。どんどや体験も地域でどんどやが減少する中、地域の行事として根付きはじめ、親子や地域の交流の場となっている。	継続	合志市受託事業 事 業 費 児童センター事業 実 施 日 時 土曜日・長期休暇中 実 施 場 所 ふれあい館、田んぼ 黒石区プレイパーク 対 象 者 0歳～18歳までの児童とその家族 人 数 281名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
143	年長児等来館促進事業 (事業の内容、実績) 小学生年長児・中・高校生の健全な居場所を確保するため、利用ニーズの高い音楽機材、スポーツ等の専門的な講習を行うとともに交流を目的に実施。 <利用者数> 赤ちゃんふれあい交流体験 21名、バスケットスペースの貸出 86名 熊本ヴォルターズの選手とフリースロー対決 108名 熊本ヴォルターズの選手によるバスケット教室2回 64名 延長児童館 90名、ドラムレッスン2回 15名 赤ちゃんふれあい交流では、年長児童が、赤ちゃんと保護者と遊び関わることで共感能力を高め、愛着感情を醸成し、将来の子育ての貴重な予備体験とし虐待予防につなげることを目的に開催。また、人気の高いバスケットの貸出スペースを設置し、プロのバスケット教室も行った。延長児童館ではドラムレッスン教室を開催し、少しづつ利用が定着してきている。	単年度	合志市受託事業 事 業 費 児童センター事業 実 施 日 時 月曜日 午後4時～午後7時 実 施 場 所 このみ坂保育園音楽スペース 黒石区プレイパーク、児童館 対 象 者 小学年長児～ 高校生 人 数 384名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
143	年長児等来館促進事業(地域のあそび場プレーパーク) (事業の内容、実績) 自然のあそび場の中で、子どもがたくましく育ち、様々な大人と関わり地域での支えを通して、異世代交流の場として実施した。年間のプレーパークメンバーとして野外活動・自然活動を通して「生きる力を育む」ことを目的に実施した。 <利用者数> プレーパークメンバー活動 31名 (竹細工や空き缶ごはん焼き等の野外活動)	単年度	合志市受託事業 事 業 費 児童センター事業 実 施 日 時 年4回 実 施 場 所 黒石区プレイパーク他 対 象 者 小学校高学年以上 人 数 31名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
144	児童福祉週間特別事業 (事業の内容、実績) 児童福祉週間に児童館等を活用した、児童の親子でのふれあい、様々な人との出会い、地域の仲間づくりを促進し、子育て家庭の支援や児童の健全な育成を図ることを目的とし事業を実施。 <利用者数> 児童館祝日特別開館 16名 アウトドアクッキング 34名 地域の方に家の中で眠っている「こいのぼり」を募集し、たくさんの「こいのぼり」の掲揚を行い、児童の健全育成を祈った。また、児童福祉週間中の祝日休館日に特別開館を行った。行事としては黒石区プレイパークにおいて、家族で楽しめるアウトドアクッキングを開催。天気にも恵まれ、まきまきパンやピザづくりなどを楽しみ、家族でのびのびとした時間を過ごした。	継続	合志市受託事業 事 業 費 児童センター事業 実 施 日 時 5月5日～11日 実 施 場 所 児童館 黒石区プレイパーク 対 象 者 0歳～18歳までの児童とその家族 人 数 50名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
145	夏休み児童館特別企画 (事業の内容、実績) 夏休み等の長期休暇中に児童館等を活用した、児童の親子でのふれあい、様々な人との出会い、地域の仲間づくりを促進し、子育て家庭の支援や児童の健全な育成を図ることを目的とし事業を実施。 <利用者数><くるくるアニメをつくろう 37名、びっくり手品教室 78名 HONDA環境ワゴン 41名、赤ちゃんふれあい交流体験46名 JAL紙ヒコーキ教室 30名、特別コンサート会 78名 キラキラ小物をつくろう 32名、とり+かえっこ 78名 主に幼稚園以上の親子が気軽に参加できる自由来館の企画や、家族で参加できる企画を行う。地域のボランティアの方の協力や企業の社会貢献活動事業ともタイアップできたため、制作活動から音楽及び交流活動まで児童館ならではの情操を豊かにしていく活動ができた。	継続	合志市受託事業 事 業 費 児童センター事業 実 施 日 時 夏季休暇中 実 施 場 所 ふれあい館 対 象 者 0歳～18歳までの児童とその家族 人 数 420名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
146	ファミリーサポートセンター事業 コーディネーターおよびアドバイザーの設置 (事業の内容、実績) 核家族化や都市化の進展により、家族や現行の保育サービスでは応じきれない保育ニーズを補完し、仕事と育児の両立を支援するために会員登録制による組織化を行った。会員相互による育児の援助活動の調整等を行うコーディネーターの設置により、保育ニーズに合わせた協力会員のコーディネートを柔軟に対応し、市役所(子育て支援課・保健師)、保育所や医療機関など子育て支援関連機関との連絡調整を行い、サポートセンター活動を展開した。 <活動時間> 6時～22時 <利用料金> 月～金 7時～20時 700円、早朝・夜間・土・日・祝日800円 ※市内在住の方は市が半額助成 <広 報>ファミサポート通信	継続	合志市受託事業 事 業 費 15,715千円 実 施 日 時 月曜日～土曜日 8時30分～17時15分 実 施 場 所 ふれあい館 対 象 者 0歳～小学校6年生(障がいをもつ18歳)の保護者までの子どもの保護者 人 数 会員総数1,464名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
147	ファミリーサポートセンター事業 会員登録及びサービス利用の促進	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績)		事 業 費	ファミリーサポート センター事業
必要とする方に周知するため、保育所や市内医療機関にサービスの説明やチラシの設置協力を行った。 また、ファミリーサポート事業ではできなかつた産褥期や多胎児を育てる家庭の家事支援について合志市子育て支援課の理解のもと提供を行うことにより、体調不良な母親の支援も実施した。	実 施 日 時	活動時間 6時～22時	
<会員登録数> ・利用会員1,023名・協力会員259名 ・両方会員182名	実 施 場 所	ふれあい館	
<利用状況> ・活動件数 2,725件・活動時間 9,027時間	対 象 者	0歳～小学校6年生 (障がいをもつ18歳)	
<利用内容> ・月平均件数 227件 ・学童の放課後預かり459件 ・保育所、幼稚園後の預かり451件 ・保育所、学校が休み時の援助422件 ・短時間、臨時就労の援助305件	人 数	保護者 会員総数1,464名	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
148	ファミリーサポートセンター事業 会員養成講習会および交流会の開催	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績)	事 業 費	ファミリーサポート センター事業	
<養成講座> ファミリーサポートの周知と理解、新規会員の獲得と資質向上のために開催。これまでの6時間講習から、より安全に安心して援助活動が行えるよう、24時間以上の受講を推進した。	実 施 日 時	全9日間	
7日間 26時間 参加延べ数 116名 ※託児…ボランティア5名、子ども7名	実 施 場 所	ふれあい館 福祉会館	
<交流会> 会員の親交を深めるとともに、会員の情報交換の場を目的に年2回開催した。	対 象 者	登録会員及び会員 になりたい方	
8/31(日) 全体交流会 参加者136名 (内容)活動報告、会員体験発表、じゃんけん大会、会食、夏祭り	人 数	参加総数 266名	
3/10(火) ミニ交流会 参加者14名(内子ども5名) (内容)調理、会食			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
149	緊急サポートネットワーク事業 深夜・お泊り支援の実施	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績)	事 業 費	ファミリーサポート センター事業	
ファミリーサポートでは対応できない お泊り保育を補うことで、より充実した援助活動を実施した。24時間対応携帯電話により緊急時の相談に対応した。	実 施 日 時	20時～翌8時	
<利用料金> 小学生 4,000円 3歳～就学前 5,000円 3歳未満 6,000円 ※市が半額助成、その他実費負担あり	実 施 場 所	原則 協力会員宅	
<会員登録数> ・利用会員 189名 ・協力会員 81名 総数 270名	対 象 者	0歳～小学校6年生 をもつ保護者	
<利用状況> ・緊急サポート(泊り支援)活動 64件	人 数	登録会員270名	

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
150	緊急サポートネットワーク事業 病児預かり促進	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績)		事 業 費	ファミリーサポートセンター事業
ファミリーサポートでは対応できない病院受診・病児預かりを補うことで、より充実した援助活動を実施した。保育所・医療機関の協力もあり、スムーズに行うことができた。		実 施 日 時	病児預かり7:30～20 病院受診9～18
<利用料金>	月～金 1,000円、土1,100円 (日・祝日の活動は原則として行わない) ※市が半額助成、その他実費負担あり	実 施 場 所	原則 協力会員宅
<会員登録数>	・利用会員 189名 ・協力会員 81名	対 象 者	0歳～小学校6年生をもつ保護者
<利用状況>	・緊急サポート活動 (病院受診6件、病児預かり91件)	人 数	登録会員270名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
151	病児・病後児保育事業「すこやか」	継続	合志市受託事業
(事業内容)		事 業 費	病児保育事業 11,654千円
病中、または病気回復期にある子どもの預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上を目的に実施した。嘱託医の協力により、職員のスキルアップ研修実施や病状の変化を相談しながら保育を行った。預かりを通して、保護者に子育てや病気時の対応について助言し、病気の子どものお世話と仕事の両立をする保護者に寄り添う支援を行うことができた。		実 施 日 時	月～金7:30～18:00 土曜日7:30～13:30
<実績者数>		実 施 場 所	ふれあい館
・総登録者数1,959名(新規登録265人)・延利用数645名(市外利用者20名)		対 象 者	市内在住、保護者が市内に勤務する(2ヶ月～小3)
・利用世帯状況(課税563名、非課税21名、非課税ひとり親53名、生活保護8名)		人 数	定員6名、利用総数645名(内市外20名)
・開設日数 295日(日・祝日、12/29～1/3は休日)			
<利用料金／1日> *5時間未満は半額。			
課税世帯…2,000円 非課税世帯…1,000円 非課税ひとり親世帯・生活保護世帯…無料 *減免は、証明書提出			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
152	病児・病後児保育事業 “こども健康・育児相談”	継続	独自事業
(事業の内容、実績)		事 業 費	病児保育事業
子どもの健康や、育児に関する相談について、病児病後児担当の看護師またはこども支援センターの保育士等が対応し、身近な相談窓口として実施した。		実 施 日 時	毎週月曜日10:30～11:30 (第4月曜を除く)
<相談内容>		実 施 場 所	ふれあい館地域子育て支援センター「りんごのへや」
・体重測定や発達等に関する事 ……24件		対 象 者	全子育て世帯
・離乳食に関する事 …… 6件		利 用 件 数	22名
・ミルクの量、飲ませ方などに関する事…6件			
・母乳、授乳に関する事 ……2件			
・便秘等排泄に関する事 ……2件			
・睡眠、夜泣き、母親の体調に関する事…3件			
*複数相談あり			

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
154	キッズクラブの設置運営 (事業の内容、実績) 保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に各学校で実施している学童クラブでは対応できない19時以降の利用が必要な児童を対象に実施した。年度途中に家族状況が急遽変わり、支援が必要な児童についても迅速に対応し、子育てと仕事の両立に支援できた。 <利用料> ・基本料金 2000円・月曜日～金曜日 300円(軽食付) ・土曜日・長期休暇 600円(軽食付) <利用状況> ・延利用者 8,034名(平日平均利用数31名)	継続	合志市受託事業 事 業 費 放課後児童健全育成事業 13,5583千円 実 施 日 時 月～金 13時～20時 土・長期休暇 9時～20時 年間 294日開設 実 施 場 所 ふれあい館 対 象 者 西合志東小、西合志南小、西合志中央小 1～3年生 人 数 定員51名 延利用数8,034名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
156	学童クラブ障がい児受入 (事業の内容、実績) 障がいのある子どもが、学童クラブを利用する機会を確保し、子ども同士が生活を通して共に成長できるよう職員配置を行い、保護者や関係機関と連携をとり支援を行った。	継続	合志市受託事業 事 業 費 障害児預かり事業 4,917千円 実 施 日 時 各学童クラブと同じ 実 施 場 所 各学童クラブと同じ 対 象 者 各学童クラブと同じ 人 数 6名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
157	第一小学校地域学童クラブ(くすの木クラブ)の設置運営 (事業の内容、実績) 保護者が労働等により昼間保育が出来ない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に実施した。小規模校であり学童保育の設置が保護者会では難しく、委託事業にて実施。学校との連携を密にしながら実施することができた。 <利用料> ・通常月 6,000円 ・4月、7月、12月 7,000円 ・8月 10,000円 ・土曜利用料 1回700円 ・延長利用料 100円 <利用状況> ・延べ利用者数 4,056名 (平日平均利用 17.7名)	継続	合志市受託事業 事 業 費 放課後児童健全育成事業7,436千円 実 施 日 時 通常12～19(土9～20) 長期休暇8～19 293日 実 施 場 所 立割老人憩いの家 対 象 者 西合志第一小 1～6年生 人 数 21名 延利用数4,056名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
158	長期休暇等児童預かり事業 (事業の内容、実績) 保護者が労働等により夏休み等長期期間中の昼間保育ができない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に実施した。 <利用料> ・長期休暇期間 ・夏休み 14,500円 ・春休み 3,500円 ・冬休み 2,800円 別途保険料等 年間2,000円 地域の方やデイサービスの利用者と異世代交流を実施し、社会見学・昼食やおやつ作り、ボランティア指導による製作活動を行った。	継続	合志市受託事業 事 業 費 1,302千円 実 施 日 時 月～金 8時～18時 開設39日 実 施 場 所 ぐすの木クラブ ピーすクラブ 対 象 者 学童クラブに在籍しない 1年生～6年生 人 数 27名 延利用数358名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
159	ひとり親家庭等日常生活支援事業	継続	合志市受託事業
160	「生活援助員派遣事業」「子育て支援員派遣事業」 (事業内容) ひとり親家庭等が修学や疾病等の理由により一時に家事、育児等の日常生活に支障が生じた場合に、家庭生活支援員が児童の世話、家事等日常生活の支援を行うことを目的に家庭生活支援員の調整を行い、ひとり親家庭等の生活の安定や自立を支援した。 ※家庭生活支援員は熊本県家庭生活支援員養成講習会を修了したもので、生活援助員派遣はホームヘルパー3級以上の有資格者とする。 (利用実績) ○生活援助員派遣事業 5月… 4回(部屋の片付け等家事支援) 9月…14回(部屋の片付け、食事の提供等家事支援) 10月… 1回(部屋の片付け等家事支援) ○子育て支援員派遣事業 6月…1回(病気の子どもの預かり)	事 業 費 実 施 日 時 実 施 場 所 対 象 者 利 用 者 数	事務費300×日数 支援員活動費 必要時に 市より依頼 利用者自宅 児童を養育する母子・ 父子家庭及び寡婦 3名 延利用数 20回

職員数は平成27年1月1日現在

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
在宅支援課（居宅支援）	4.5 人	0 人	4.5 人	

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

1) 指定居宅介護支援事業(介護保険事業)

在宅で受けられる指定居宅サービス等の紹介、インフォーマルサービス等の調整、サービス利用に係る費用の計算・請求等をご利用者に代わりサービス提供を行った。

尚、当事業所は社協独自事業である福祉支援センター相談事業(含む福祉用具貸出事業)も兼務しており、担当ご利用者以外の一般市民の方々からの相談等にも迅速に対応することで、介護保険事業所に留まることなく市民にとって的一般介護相談の場としても機能した。

2 業務を推進していく場合の課題

- 合志市管内は人口増加密集地域、高齢者人口は増加傾向にある、熊本市に隣接する等介護保険事業所として経営環境がよく、必然的に大手小規模を問わず事業所も乱立している。このような環境下にあってお客様に選ばれる事業所として事業所環境や職員の質の向上が求められる。
- 社会福祉協議会は単なる経営事業としてではなく、地域福祉の視点に立った事業所の運営が求められており経営優先にならず、交流事業や地域開放を取り入れた運営を行っているが、ご利用者の高齢化への配慮とプライバシーの保護が課題となる。
- 支援が必要にも関わらず、支援に結び付いていない潜在的な要援護者の掘り起しが十分にできていない。

3 今後の方針性

- インフォーマルサービスを含む、社会資源のさらなる活用と市民への周知を図ることで社協(地域福祉を目的とした介護事業)らしさを發揮する。
- ご利用者のストレングス(意欲、強み)を十分活用し、自立支援に向けたケアプランの内容充実を図り。
- 行政及び指定居宅サービス事業所、各種団体(民児協等)との連携を強化し、相談に来所できない要援護者へのアウトリーチ(積極的接近)等も迅速に行う。
- 困難事例へも積極的に対応を行う。
- 支援が必要にも関わらず、支援に結び付いていない潜在的な要援護者の掘り起しを図る。

職員数は平成27年1月1日現在

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
在宅支援課（通所介護）		18人	8人	26人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

1、介指定通所介護事業・指定予防通所介護・時間延長介護事業(介護保険事業)

平成26年度は、介護予防に重点を置き、理学療法士・機能訓練指導員による貯筋教室、個別機能訓練、歩行訓練に力を入れた。自宅での様子をうかがいながら訓練したことが自宅生活の中で行かせるように個別訓練にも対応してきた。

口腔機能の向上では歯科衛生士のもとで職員が指導を受け口腔ケア時に一人一人のお口の状態に合わせたせ口腔ケアの取り組みを充実させた。また口腔の状態から飲み込みの状態まで把握をし、その方に合わせた食事の形態を選択できるようにした。栄養の管理の面からも体重減少の方に観察を続けグラフ化し、原因を多職種で話をしながら問題を解決できるよう取り組んだ。

介護予防通所介護の方へは、総合事業への移行がスムーズに対応できるよう、自宅での介護予防の取り組みのために記録帳(元気積立帳)を開始した。そのことで、さらに介護予防への意識が高まった。また個別対応デイでの認知症予防の取り組みを職員が工夫し取り組んだ結果、言葉数が増えたり自分の意志を伝えやすくなったりなど成果が出ている。

地域に開かれた事業所をめざし、社会参加の機会を工夫した地域のボランティアの協力や併設のこのみ坂保育園園児、学童クラブ(キッズクラブ)、れんがの家との定期的な交流を行った。

家族介護者への支援(レスパイト)で実施している延長サービスの利用も必要時に活用されている。独自のサービスとして自宅での洗濯が困難な方には、着てこられた衣服の洗濯のサービスを開始した。

2、基準該当通所介護事業(生活介護)

ふれあい館で行っている通所介護事業は、障がいがある方のへサービスを併せて実施しており年齢に合わせたサービスを心がけている。介護保険へのスムースな移行や就労希望の方へも話を聞きながら個別のニーズに対応した。

3、閉じこもり予防通所事業

要介護認定で自立認定を受けた方を対象とする閉じこもり予防デイサービス(市受託事業 会場:みどり館)を行っている。閉じこもり予防デイサービスでも介護予防を重視し、運動機能・口腔機能・栄養・認知機能の向上を目的に様々な取り組みを行い、運動においては全員の骨密度の向上が見られるなど大きな成果を見た。

2 業務を推進していく場合の課題

要支援認定の方については、28年度以降は総合事業への移行期であり、他デイサービスの動きとして、報酬が下がる為、食事なしでの短時間利用や、入浴の提供を中止する予定の事業所が増えてくると予測される。入浴支援が必要な利用者が本会デイサービスに変更希望されるケースが増加してきている。今後、市の方向性を予測しながら本会のデイサービスの在り方も検討が必要となる。

3 今後の方向性

総合事業への移行期の中で、現予防対象者へのデイサービスの位置づけが明確でない部分もあるが、今後さらに地域の方々に利用しやすく、必要とされるデイサービスであるよう取り組みを考えていきたい。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
170～172	指定通所介護事業、指定予防通所介護事業、時間延長介護事業	継続	介護保険事業															
1) 事業内容 介護予防に(運動機能、口腔機能、認知機能)の向上を重視した内容を充実した。特に今年度は要支援の方を対象に自宅での取り組みへも力を入れた。独自で4月より洗濯サービスを開始した。	営業日	月曜日～土曜日																
2) 実績 ・介護度別利用実人数(年度末3月実績) <table border="1"><tr><th>支援1</th><th>支援2</th><th>介護1</th><th>介護2</th><th>介護3</th><th>介護4</th><th>介護5</th><th>計</th></tr><tr><td>9</td><td>18</td><td>37</td><td>20</td><td>7</td><td>2</td><td>0</td><td>93</td></tr></table>	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計	9	18	37	20	7	2	0	93	営業時間	9:30～16:40
支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計											
9	18	37	20	7	2	0	93											
・介護給付(活動実績) 開設日数307日 (1日平均 要支援1・2 7.2人 ・ 要介護1～5 28.6人) <table border="1"><tr><th>要支援1・2</th><th>介護1・2</th><th>介護3以上</th><th>月平均</th><th>年間利用数</th></tr><tr><td>2139人</td><td>7248人</td><td>1560人</td><td>912人</td><td>10947人</td></tr></table>	要支援1・2	介護1・2	介護3以上	月平均	年間利用数	2139人	7248人	1560人	912人	10947人	休日	日、祝日 12/30～1/3						
要支援1・2	介護1・2	介護3以上	月平均	年間利用数														
2139人	7248人	1560人	912人	10947人														
・洗濯サービス 270回 ・延長時間9時間以上11時間未満利用件数 2件	対象者	要介護1～5 要支援1・2																
	利用定員	50人																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
161	閉じこもり予防通所事業	継続	合志市受託事業															
1) 事業の内容 家に閉じこもりがちな65歳以上の高齢者の閉じこもりの防止や介護予防啓発の為、通所の方法により、日常動作訓練や趣味活動等のデイサービスを提供した。特に今年は介護予防啓発(運動機能、口腔機能、栄養改善、認知機能)の向上を重視した内容を充実した。	営業日	水木金																
	営業時間	10:00～15:30																
	休日	12/27～1/4																
2) 実績 <table border="1"><tr><th>実人数</th><th>年間利用</th><th>開設日</th><th>1日平均</th></tr><tr><td>62人</td><td>1,753人</td><td>152日</td><td>11.5人</td></tr></table>	実人数	年間利用	開設日	1日平均	62人	1,753人	152日	11.5人	対象者	65歳以上								
実人数	年間利用	開設日	1日平均															
62人	1,753人	152日	11.5人															
	利用定員	20人																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
204	基準該当生活介護事業所の設置経営	継続	他の事業															
1) 事業内容 常時介護を必要とする障害者の方に、入浴や排泄、食事等の介護や、創作活動、レクリエーションを通して他者との交流の機会を提供した。自立した生活や社会生活を営むことができるよう、生活能力の向上の為に必要な訓練等を実施した。	営業日	月曜日～土曜日																
	営業時間	9:30～15:00																
	休日	日、祝日 12/30～1/3																
2) 実績 <table border="1"><tr><th>実人数</th><th>年間利用</th><th>開設日</th><th>1日平均</th></tr><tr><td>11人</td><td>645人</td><td>283日</td><td>2.2人</td></tr></table>	実人数	年間利用	開設日	1日平均	11人	645人	283日	2.2人	対象者	障害手帳をお持ちの方								
実人数	年間利用	開設日	1日平均															
11人	645人	283日	2.2人															
	利用定員	5人																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
164、 167、168	指定居宅介護支援事業 (事業の内容) 在宅で受けられる指定居宅サービス等の紹介、インフォーマルサービス等の調整、サービス利用に係る費用の計算・請求等をご利用者に代わりサービス提供を行った。	継続	介護保険事業
		営業日	月曜日から金曜日
		営業時間	8:30～17:30
	(実績者数) ・CM換算数 4.5人 ・介護利用者数 1621人 ・予防利用者数 194人 ・月平均数 151.3人 ・月担当平均数 介護 30.0人/CM 予防(1/2換算) 3.6人/CM 計 33.6人/CM	休日	土・日・祝日、 12/29～1/3
		対象者	要介護・要支援認定者
		月担当上限数	39人/CM
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
165	訪問調査支援事業 (事業の内容) 合志市からの依頼を受け、在宅で要支援者の更新調査を行った。	継続	合志市受託事業
		営業日	月曜日から日曜日
	(実績数) ・6月～8月まで合計39件の依頼有り。 ・委託料4350円/件 ・請求金額 39件×4350円＝169650円	営業時間	8:30～17:30
		休日	12/29～1/3
		対象者	要支援認定者
		件数	依頼による
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
166	住宅改修・福祉用具理由書作成事業 (事業の内容) 在宅で要介護・要支援認定者の依頼により理由書作成を行った。	継続	介護保険事業
		営業日	月曜日から金曜日
	(実績数) ・住宅改修数 21件 ・福祉用具数 19件 ・合計数 40件	営業時間	8:30～17:30
		休日	土・日・祝日、12/29～1/3
		対象者	要介護・要支援認定者
		件数	依頼による

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
164	福祉支援センター事業	継続	独自事業																														
	・介護利用者数(年間) 1621人 ・予防利用者数(年間) 194人	営業日	月曜日から金曜日																														
	・相談実績	営業時間	8:30～17:30																														
	<table border="1"> <tr> <th>来館及び訪問での相談受付</th> <th>電話での相談受付</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>39件</td> <td>110件</td> <td>149件</td> </tr> </table>	来館及び訪問での相談受付	電話での相談受付	計	39件	110件	149件	休日	土・日・祝日、12/29～1/3																								
来館及び訪問での相談受付	電話での相談受付	計																															
39件	110件	149件																															
		対象者	合志市民																														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
164	福祉支援センター事業	継続	独自事業																														
	相談内容	相談件数	149件																														
	<table border="1"> <tr> <th>相談区分</th> <th>内訳</th> <th>件数</th> </tr> <tr> <td>居宅介護支援</td> <td>居宅依頼</td> <td>42件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>介護保険申請代行</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他介護について</td> <td>56件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>福祉用具について</td> <td>37件</td> </tr> <tr> <td>連絡調整活動</td> <td>他事業所の紹介</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地域活動の紹介</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>包括への情報提供</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>149件</td> </tr> </table>	相談区分	内訳	件数	居宅介護支援	居宅依頼	42件		介護保険申請代行	7件		その他介護について	56件		福祉用具について	37件	連絡調整活動	他事業所の紹介	1件		地域活動の紹介	0件		包括への情報提供	1件	その他		5件	合計		149件		
相談区分	内訳	件数																															
居宅介護支援	居宅依頼	42件																															
	介護保険申請代行	7件																															
	その他介護について	56件																															
	福祉用具について	37件																															
連絡調整活動	他事業所の紹介	1件																															
	地域活動の紹介	0件																															
	包括への情報提供	1件																															
その他		5件																															
合計		149件																															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
169	福祉支援センター事業	継続	独自事業																														
	福祉用具貸出し事業	貸出期間	原則2週間																														
	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>件数</th> <th>用具数</th> </tr> <tr> <td>車いす(介助用)</td> <td>41件</td> <td>52台</td> </tr> <tr> <td>車いす(自走用)</td> <td>40件</td> <td>67台</td> </tr> <tr> <td>トイレ用具(ポータブルトイレ等)</td> <td>36件</td> <td>36台</td> </tr> <tr> <td>入浴用具(浴槽台、シャワー椅子等)</td> <td>12件</td> <td>12台</td> </tr> <tr> <td>歩行器</td> <td>3件</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>電動ベッド</td> <td>1件</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>補助具(杖等)</td> <td>7件</td> <td>7台</td> </tr> <tr> <td>ほか(スロープ等)</td> <td>10件</td> <td>12台</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>150件</td> <td>190台</td> </tr> </table>	項目	件数	用具数	車いす(介助用)	41件	52台	車いす(自走用)	40件	67台	トイレ用具(ポータブルトイレ等)	36件	36台	入浴用具(浴槽台、シャワー椅子等)	12件	12台	歩行器	3件	3台	電動ベッド	1件	1台	補助具(杖等)	7件	7台	ほか(スロープ等)	10件	12台	合計	150件	190台	貸出件数	150件
項目	件数	用具数																															
車いす(介助用)	41件	52台																															
車いす(自走用)	40件	67台																															
トイレ用具(ポータブルトイレ等)	36件	36台																															
入浴用具(浴槽台、シャワー椅子等)	12件	12台																															
歩行器	3件	3台																															
電動ベッド	1件	1台																															
補助具(杖等)	7件	7台																															
ほか(スロープ等)	10件	12台																															
合計	150件	190台																															
	(介護保険等のサービスに該当する場合等は原則不可。但し、現品が届くまでの間や試用の場合には貸出する)	その他	他法優先																														

職員数は平成27年1月1日現在

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
訪問支援課		介護員 5 看護師 2 人	介護員22 看護師 1 人	30 人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(訪問介護係)

- ・指定訪問介護、予防訪問介護事業:利用者の生活機能のレベルを再評価し、生活に必要な家事を利用者とともに行った事で、心身機能維持向上につながる事例が増えた。
- ・高齢者生活管理指導員派遣事業(市委託):介護保険サービスへ移行した利用者もいたが、ヘルパー支援により生活の活性化が図れ概ね現状維持の生活を送られている。
- ・認知症高齢者家族やすらぎ支援事業(市委託):依頼件数減であるが、支援する事で、家族に安心できる時間の提供できた。
- ・有償介護支援サービス事業(独自事業):制度上の規則により支援不可能で、代替えサービスもなく、当ヘルパーでなくてはならない利用者に対し支援できたことで問題点解決へ導いた事例が増えた。

(訪問看護係)

・指定訪問看護事業・指定医療訪問看護事業・指定自立支援医療機関

小児から高齢者まで、あらゆる方を対象に、安心して在宅生活が継続できるよう支援を実施。近隣の医療機関と密な連携をとり看取りケアも行なった。これは、地域の方が在宅医療を取り組むことへの安心へつながった。H26年度は在宅看護学会で発表を行ない、要支援者の自立に向けた予防訪問看護の必要性をアピールする事ができた。他、記録等の見直しを実施したこと、記録時間の短縮化とともに内容がわかり易く充実したものとなった。

全国的に訪問看護師不足が問題となっているが、常勤スタッフの定着により利用増につながっている。

2 業務を推進していく場合の課題

(訪問介護係)

介護保険制度開始時に、日々の生活に必要でない依頼(制度外)に対し安易に対応していた事業所も多かった事から自立支援としての認識が薄いままで経過してきた。制度改正の度に検討されているが、利用者の意識改革不足と来年度の地域支援事業への移行により、支援件数減が予測される。

(訪問看護係)

4月の介護報酬改定により、中等度の要介護者の看護体制の評価での加算項目が追加されたが、小規模事業所である本会事業所は対象外のため厳しい運営となることが予測される。また、基本報酬の減算もあるため利用者増で補う必要がある。

3 今後の方向性

(訪問介護係)

来年度から要支援対象者の地域支援事業への転換に向け、ご利用者様の意識改革も重要である。居宅介護支援専門員や他職種、インフォーマルサービスなどと連携し本来の支援サービスの意義である自立に向けた支援体制の構築に努めていく。また、専門的視点から対応できるスタッフの育成(次世代も含め)に努める。訪問介護サービスの目的を再度意識したうえで、信頼されうる支援へ励み報酬額増にもつなげたい。

(訪問看護係)

根拠となる法では、大規模事業所に対しての加算をつけるなど機能強化型へ移行している中、本会事業所は社協の特殊性を活かし地域に根付いた個別性のある看護を提供することで、利用者の在宅生活を支え医療機関に属さない福祉的関与を重視した運営を目指す。

番号	事業の名称			新規・継続	事業形態
174	訪問介護事業			継続	訪問介護事業
175					
176					
(事業内容)指定訪問介護、予防訪問介護事業・高齢者生活管理指導員派遣事業、認知症高齢者家族やすらぎ支援事業(市委託)・有償ホームヘルプサービス事業(独自事業)等を、生活に支障ある高齢者や家族に対し、住み慣れた地域(自宅)で安定した安全な生活が安心して送れるように、専門的な知識と技術を用いながら生活支援や身体介護を提供する。					
(実績数)	サービス別	利用者数(名)	訪問件数(件)		
介護保険	介 護	510	5113		
	予 防	605	3550		
委託事業	生 活 管 理	188	790		
	やすらぎ	12	19		
独自事業	有償 ヘルパー	67	111		
	合 計	1382	9583		
番号	事業の名称			新規・継続	事業形態
177	指定訪問看護事業			継続	訪問看護事業
178					
179					
(事業内容)指定訪問看護事業・指定医療訪問看護事業・指定自立支援医療機関など医療的支援の必要な方に対し、住み慣れた地域(自宅)で、安心した在宅生活が送れるように看護師が訪問し一人一人の状態に応じた看護を提供する。					
(実績数)	サービス別	利用者数(名)	訪問件数(件)		
介護保険	介 護	130	828		
	予 防	11	44		
医療保険	国民健康保険	47	48		
	社会保険	10			
	合 計	198	920		

職員数は平成27年1月1日現在

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり		8人	6人	14人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 通所・放課後児童・病児保育・地域事業

平成26年度は地域へ開かれた事業所をめざす事に力を入れ、行事内容の工夫に重点をおいて実施した。例えば、夏祭りや地域交流餅つきについては、家族の参加、地域住民への声掛け、学童クラブ(ひーす)への参加の声かけを行った。事業を実施することのより、学童クラブと通所介護利用者との交流を深め、高齢者との関わりを通じて異世代交流になり、挨拶を通じて自然な関わりが持てた。通所介護、予防通所介護の方へは、生活リハビリに重点をおき、自宅での生活の中でも活用できるような個別支援を行った。個別機能訓練表・脳トレ確認表を使い機能向上、認知症進行防止につながったと思われる。機能維持向上の為、自転車ペダルこぎ、歩行訓練、外出行事、近隣公園への散歩に力を入れ実施した。家族介護者への支援として、時間延長サービス、宿泊支援サービスも実施し利用へつながった。また、今年度南ヶ丘デイサービスでは、初めて家族会を開催し、色々な意見があり今後も定期的に開催する必要があることを改めて感じた。

病児保育事業では、定員3人まで子どもの預かりが支援できるように、職員の人員配置努めた。嘱託医による研修を実施し、職員のスキルアップを行った。お迎えが遅くなる18時以降の子どもには、緊急サポートの対応を行った。

(2) 地域福祉事業

地域福祉事業としては、地域への社会参加として、通学児童への挨拶運動を兼ねた朝の地域清掃活動、また、民協連との挨拶運動、見守り隊、地域福祉座談会への参加し福祉事業の啓発に努めた。

あつとほーむ事業では、年末年始の独居者、利用中の通所が年末年始休みの為、利用希望者をひかりにお連れし、入浴、食事の支援を行った。利用者より、これで良い年が迎えられるとの声も聴かれた。

定期のミーティングと職員主催の自主研修を開催することにより、社協のサテライト的ひかりの機能向上に努めた。

2 業務を推進していく場合の課題

- 一敷地内での多事業を実施しているため、職員の人員配置を考えながら実施する。
- 多事業を行っているため、社協の職員として今後も職員のスキルアップに努める。
- 小規模減算等通所介護や学童保育においては経営的には課題を抱えるが事業ガイドラインや事業種別の読み込みと対応が必要となる。ゾーニング及び本会の合志南部地域の活動拠点としての意味合いを持っており、本会全体での理解を必要とする(投資の理解)。

3 今後の方向性

介護保険法変更の為、通所介護の位置づけ、サテライト型、地域密着型、認知症対応型の検討をしていく必要がある。また通所予防介護の受け入れをどうするか検討する必要がある。

今後もさらに地域の方が利用しやすい施設として、地域へ開かれた施設、お困りごとは社協への精神で取り組んでいく。その為にも様々な交流の計画、地域の方への参加呼びかけ、職員もどんどん地域へと参加していく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
152	病児病後児保育室「陽(光)」の設置運営	継続	合志市受託事業
(事業内容)			
南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり敷地内において、生後2ヶ月から原則小学校3年生まで(センター長が認めたものは小学校6年生まで)の児童を対象に、感染症を除く病中、または病気回復期にある子どもの預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与することを目的に実施した。	事業費	7186千円	
(実績者数)			
延べ利用数	201人 (市外利用者数 20人) (課税世帯161人、非課税世帯25人、 非課税ひとり親世帯14人、生活保護世帯1人)	実施日時	月曜日～金曜日 7:30～18:00
開設日数	244日(土日・祝日、12/29～1/3は休日)	実施場所	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり
(登録者数)		対象者	生後2ヶ月～ 原則小学校3年生
南ヶ丘福祉支援センターひかりでの登録者数 25人	人數	3人	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
155	学童保育「ぴーすクラブ」の設置運営	継続	合志市受託事業
(事業内容)		事業費	3833千円
南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり敷地内において、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に学校の学童クラブでは対応できない19時以降の利用が必要な児童を対象に実施した。	実施日時	月～金 午後1時～午後8時 土曜日、長期休暇 午前8時～午後8時	
(実績者数)		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり
・延べ利用者数 3051人		対象者	合志南小学校1年～6年生 合志南ヶ丘小学校1年～6年生
・開所日数 294日		利用定員	19人
・平均利用者数(日) 10.3人			
(登録者数)			
・学校別 南小:4人 南ヶ丘小10人			
・学年別 1年4人、2年4人、3年4人、4年2人			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
156	学童クラブ障がい児受入	継続	合志市受託事業
(事業内容)		事業費	1639千円
南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり敷地内において、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に学校の学童クラブでは対応できない19時以降の利用が必要な障がい児を対象に実施した。	実施日時	月～金 午後1時～午後8時 土曜日、長期休暇 午前8時～午後8時	
(実績者数)		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり
・延べ利用者数 225人		対象者	合志南小学校1年～6年生 合志南ヶ丘小学校1年～6年生
・開所日数 290日		人數	19人
・平均利用者数(日) 0.76人			
(登録者数)			
・学校別 南小:1人 南ヶ丘小0人			
・学年別 4年1人			

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
170	指定通所介護事業	継続	介護保険事業
(事業内容)	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり内において、要介護1から要介護5までの高齢者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、また、自宅にこもりきりの利用者の孤立感の解消や心身機能の維持、家族の介護の負担軽減などを目的として実施した。利用者が通所介護に通い、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練などを日帰りで提供した。実施場所の利点を活かし、学童保育の子ども達との交流の機会を設け、異世代交流を実施した。	事業費	千円
(実績者数)		実施日時	月曜日～金曜日 9:50～15:50
・延べ利用者数	2,222人	実施場所	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり
・開所日数	309日	対象者	要介護1～5
・平均利用者数(日)	7.2人	利用定員	15人
(登録者数)			
・実人員	25人 (介護1:10人、介護2:6人、介護3:4人、介護4:1人、介護5:2人)		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
171	指定介護予防通所介護事業	継続	介護保険事業
(事業内容)	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり内において、要支援1から要支援2までの高齢者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、また、自宅にこもりきりの利用者の孤立感の解消や心身機能の維持、家族の介護の負担軽減などを目的として実施した。利用者が通所介護に通い、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練などを日帰りで提供した。実施場所の利点を活かし、学童保育の子ども達との交流の機会を設け、異世代交流を実施した。	事業費	千円
(実績者数)		実施日時	月曜日～金曜日 9:50～15:50
・延べ利用者数	145人	実施場所	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり
・開所日数	309日	対象者	要支援1～2
・平均利用者数(日)	0.47人	利用定員	15人
(登録者数)			
・実人員	4人 (要支援1:1人、要支援2:3人)		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
172	時間延長介護支援事業	継続	介護保険事業
(事業内容)	通所介護サービスの利用者に対して通常利用後の時間帯に家族介護者がいない等の理由により、最長午後9時50分まで当該施設において預かり及び見守り等の支援を実施した。	事業費	千円
(実績者数)		実施日時	月～金 午後1時～午後8時 土曜日、長期休暇 午前8時～午後8時
・延べ利用者数	2人	実施場所	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり
・実人員	1人	対象者	合志南小学校1年～6年生 合志南ヶ丘小学校1年～6年生
・利用時間	18:50まで 0人 19:50まで 0人 20:50まで 2人 21:50まで 0人	人 数	19人

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
	地域ふれあいホーム活動事業	継続	他の事業
(事業内容)			
地域の福祉力を高めていくため、南ヶ丘地域の福祉の拠点となり得るよう事業推進を行った。また、社会環境の変化に伴い複雑化・多様化している地域の人々の悩み事や困りごとを確実に受け止め、総合的かつ適切に対応できるようするため相談支援を行った。緊急時の支援やレスパイト支援が必要な世帯への対応を図るために、独自に宿泊サービスを実施した。	事業費	千円	
(実績者数)			
地域福祉活動 45回 (清掃活動5回、挨拶運動5回、ふらっとほーむ太陽 回)	実施日時	月曜日～金曜日 7:30～18:00	
相談支援 25件(介護9件、児童16件)	実施場所	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり	
宿泊サービス 延べ日数58日(※1泊2日=1日でカウント)	対象者	生後2ヶ月～ 原則小学校3年生	
開設日数 309日	人 数	3人	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
	年末あつとほーむ事業	継続	独自事業
(事業内容)			
年末年始、介護保険サービス事業所等が閉所することにより、日常生活に不便を感じる利用者や見守り・声掛け活動が必要と思われる輝き館「ひかり」周辺地域住民に対して、地域縁がわ事業(熊本県補助事業)の一環として、自宅まで送迎を行い、輝き館「ひかり」を会場に昼食・入浴等サービスを提供、新たな気持ちで新年を迎えること、また、なじみの関係づくり、利用者や地域住民の福祉の増進を図ることを目的に実施した。	事業費	千円	
(活動実績)			
・実施日 12月31日(水) 9:00～16:00	実施日時	12月31日(水) 9:00～16:00	
・実施内容 送迎、入浴、食事、レクリエーション、年越しそば	実施場所	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり	
・参加人数 16人	対象者	施設利用者及び見守りが必要な地域周辺住民	
	利 用 定 員	18人	

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
障がい支援課		19人	40人	59人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

事業理念に「可能性を信じ愛と共感の地域支援」を掲げ、障がい者支援センターとして相談支援体制の充実と障がい者(児)の直接支援体制サービスの充実を目的に6本の基幹事業と関連事業を実施した。事業環境の整備を目的に国の補助事業を受け障がい児通所事業の環境整備(建物整備)を整え障がい児通所事業の拡張と障がい者通所事業及び就労事業への準備態勢も整い、平成27年度には多機能型障がい者(児)通所事業所を開設し利用環境が大幅に改善できるようになる。

既存事業では、れんがの家利用者だけでなく、合志市の障がいを持った方々が地域との交流や、地域住民との関わりを重視した事業を展開し、広く障がい者(児)に対する理解を深めることができるように地域事業への参加を促進した他、スポーツ大会や県内啓発事業等へも積極的に参加できた。その一つとして補助事業を活用し「れんがの家結び愛事業」を実施、「れんがファンションショー」の開催は多くの障がい者(児)や地域の方々の協力をいただいた。この事業をとおして、障がいのある方たちが自らを主張しその可能性を信じ、地域住民の愛と共感を実感できたことは、事業理念の浸透が着実に進んだといえる。

また、経営面では、事業活動収支5経理区分中ふれあい館で実施する基準該当生活介護で50万程度の赤字決算であったが、相談・児童デイは通年を通じ定員制限の上限での利用があり、職員の配置不足の中、昨年に匹敵する3,300万の収支差額を残すことができた。

2 業務を推進していく場合の課題

- 個別支援計画が策定され、療育の目的遂行が明確になったが、本人や家族にその意味が十分に理解できておらず、預かり機能への期待だけになってしまっている。また同様に事業者においても本来の目的から逸脱したサービス過剰状況が見受けられる。相談事業所として個別支援計画の意味ある周知が必要
- 支援学校、学級からの担任教師の現地訪問が実施されているが、一方方向のため定期の調整会議が必要。また、他の支援機関とのケース会議が充分ではなく対応が一貫していないため、子ども自身の負担となっている
- 建物環境を整備したが、その分療育環境(遊び場)の確保に課題が移行した。
- 早期療育に必要な専門支援で専門大学校の協力を得ながら実施してきたが、専従職員の配置をすることで継続性と責任のある支援を行うことが求められている。
- 療育の「医療」「介護」「教育」「科学」的理論と実践が遂行できる職員のスキル向上が求められる

3 今後の方針

- ふだんの暮らしをしえんする…生まれ育った地域の中で、普通の暮らしができる事(性別・年齢に応じた文化的暮らし)を目標に、ワンストップ支援の環境を整備し、担当相談支援事業所との連携を強化していく。
- 他支援機関(医療・教育・家庭・療育施設・行政)との連携を強化し、障がい児にとって一貫した療育環境を整えていく
- 乱立する同種の事業所がある中で選ばれる事業所となること。そのためには施設環境の整備と職員の質を確保していく。専門職を配置し、他職種間の連携を図り療育理念の浸透を図っていく。
- 相談事業の一定成果から、経営の安定化を目指した対応を整備する。
- 障がいを持つ子供たちやその家族が、障がいを持ち地域で生活することで不安や不幸福感を感じることなく、普通の暮らしができるよう地域の中での牽引的役割を担い、安全で安心できる「やさしくて穏やかな地域社会を創造」する。

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

【相談支援事業】

国が示した平成24年度からの3か年計画(すべての障がい福祉サービス利用者へのサービス利用計画作成)の最終年度となった今年度であったが、合志市は県下でもいち早く100%に近い達成を挙げた。当会におけるサービス利用作成数は、障がい者182件(413件中)障がい児223件(250件中)と合志市内の6割以上となった。今年度は、専従の経験豊富な相談員を3名配置したこと、より利用者に近い立場での専門性の高い相談援助が行えるようになった。

2 業務を推進していく場合の課題

- ・ 合志市相談事業委託の中に含まれる菊池圏域自立支援協議会業務、24時間体制での虐待防止センタ一窓口の対応等にかかる業務整理
- ・ 時間外に関する相談業務の処理

3 今後の方針

- ・ 相談員の更なる知識向上・自己研鑽に努め、サービス利用計画の支援内容・ニーズ整理の質の向上をはかる
- ・ フォーマルサービスだけでなく、社協が事業展開する生活困窮者支援や安心サポートなどのインフォーマルな地域福祉サービスの導入など、社協が実施する相談支援事業の独自性を高めていく。
- ・ 法改正に伴う事業所加算・および児童相談の初回加算などの報酬が見込まれることから、経営面では安定する。

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

【障がい児通所事業(児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援事業)】

身近な場所での療育事業所として3年経過し、利用希望をすべて受け入れることが困難になってきていたが、放課後等デイサービスに関しては、保護者のニーズを整理し日中一時支援の定員を増やすことによって利用調整を行った。療育効果を高めるためにも、早期療育の必要性を感じたことで児童発達支援事業では利用の調整を保護者と綿密に行っていった。相談支援事業所の相談員が身近にいることによって、保護者のニーズを直接聴く事や連携会議などを迅速に行うことができる。また、利用者の特性に合った個別支援計画を作成し、モニタリング・評価へつなげることができた。また、PT・ST・保育士・児童指導員・看護師などを配置することで専門性の高い療育事業が実施できた。臨時ではあるが看護師の複数配置ができたことによって、医療的なケアを必要とする重度心身障害児対応ができたことは、医療的ケアができる事業所が少ないことから近隣市町からの利用希望も増えてきた。

2 業務を推進していく場合の課題

- ・ 新設の事業所が急増し、利用者の選択肢が増えたことによる利用者の確保。
- ・ 放課後等デイサービスの多種多様な活動内容を提示する事業所との連携
- ・ 障がいの特定をしていないことで、個々の特性があり集団の中での高い個別支援が必要になってくる
- ・ 療育効果の高い児童発達支援事業の内容の充実及び専門性の向上

3 今後の方針

- ・ 「れんがの家」理念となる療育十条を基本とした指導内容を確立していく。
- ・ 専門職集団として、集団の中にあっても一人一人に目を向け個別支援計画を基本にモニタリング・評価を職員間で共有し内容を充実、関係機関(保育園・幼稚園・学校等)との連携を深める。
- ・ 子供たちが地域の中で自立した生活をするための術を身につける事ができるよう、また地域の方々へ子供たちが求める支援する手を差し伸べてもらえるような活動を展開していく。
- ・ 専門性を高く求められる児童発達支援事業を独立させ、早期療育の効果を形にしていく

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

【ヘルパーステーション】

サービス提供責任者2名、常勤ヘルパー4名、登録ヘルパー22名で45名の家事・身体介護、専門性を必要とする同行援護や重度訪問介護を提供。登録ヘルパーも含め、月に1回定例研修会を開催し、介護・障害福祉サービスだけでなく社協事業などの理解も深めた。

早朝や夜間、休日などの調整困難な支援は、社協職員の協力(時間外)を得ることでご利用者のニーズに応えることができている。障がい支援特有の移動支援等は余暇活動への同行支援であるため長時間、遠方への外出などで事前の調整などが重要になってくる。常勤ヘルパーを4名配置することで、事業所間での利用者の情報共有・支援内容の確認が常に行われ困難ケースの解決が迅速に対応できた。

2 業務を推進していく場合の課題

- ・曜日・時間帯により支援者の確保が困難(休日・早朝・夜間)
- ・同性介護の必要性があるが、支援できる男性介護員の確保が困難

3 今後の方向性

- ・サービス提供責任者2名を配置することによって、利用者だけでなく支援する側へのサポート体制なども整えていく。
- ・障がい者支援への理解の深い知識・技術ともに専門性の高い支援者の育成に力を入れ、障がい者(児)のQOLがより高まっていくよう、地域の中でより安心して、安全に自分らしい生活ができるような支援を提供する。

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

【地域活動支援センター】

地域の中で障害のある方たちの居場所を確保できるよう、多種多様な活動を提案していった。その中でも手話教室では当事者の方が講師となり、地域住民へ指導する関係づくりが定着していった。陶芸教室。園芸においても、地域のボランティアさんから指導いただき障がいの方たちの創作や生産活動がおこなえている。

2 業務を推進していく場合の課題

- ・自分で通える方が条件な為、利用者の確保が困難
- ・精神疾患の方の利用が多く、相談対応する職員の高い援助技術が求められる(自殺希望・幻聴・幻覚など)

3 今後の方向性

- ・居心地の良い居場所を確保できるよう、また楽しく活動できるようサポートしていく。
- ・利用者の自信や意欲を活動の中で見出し、ステップの場所として次の場へつながるように相談員や各関係機関と連携できるよう相談員のスキルアップに努める

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																		
191・194	指定一般相談支援事業(障がい者虐待防止センター含む)	継続	障がい者総合支援法 (合志市委託事業)																		
(事業内容)																					
	・障がい者(児)・その保護者・介護者などのあらゆる相談に応じ、利用できる福祉サービスの紹介や、アドバイスを行う。平成25年より、24時間体制の虐待防止センター窓口を開所し相談通報などへの体制を整備。通報及び報告として、平成26年度は3件の相談に市担当課と共に対応した。地域福祉を行う社協での相談支援事業所であることから、住民だけでなく他事業所からの相談や、福祉サービスだけでなく多岐にわたる相談内容に専従の相談員を配置、関係機関との連携を図って対処していった。また、菊池圏域自立支援協議会員として各部会への参加、サービス部会活動等への協力も行っている。	営業日	月～土																		
H26年度一般相談件数:1,728件		営業時間	8:30～17:30																		
支援方法		休日	12/29～1/3なし (日祝、営業時間外等 は電話での対応)																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>訪問</th><th>来所</th><th>同行</th><th>電話</th><th>会議</th><th>調整</th><th>他</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td><td>149</td><td>117</td><td>24</td><td>1,075</td><td>355</td><td>64</td><td>2</td><td>1,728</td></tr> </tbody> </table>		訪問	来所	同行	電話	会議	調整	他	計	数	149	117	24	1,075	355	64	2	1,728	日、祝日	
	訪問	来所	同行	電話	会議	調整	他	計													
数	149	117	24	1,075	355	64	2	1,728													
相談支援内容		対象者	合志市住民他																		
① 福祉サービス調整 1,500件、 ② 自身や家族の健康や病状について 26件 ③ 不安・心配事 76件 ④ 保育や教育、学校(不登校)など14件	⑤ 家計・経済 19件 ⑥ 就労 26件 ⑦ 権利擁護 8件 ⑧ その他13件																				
※1件の相談において複数の内容があり、支援方法と支援内容の件数に誤差が生じる																					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																		
192	指定特定相談支援事業	継続	障がい者総合支援法																		
(事業内容)		営業日	月～土																		
・障がい者が自立した生活に向けて適切にニーズに合った福祉サービスを利用できるよう、相談に応じながら、サービス利用計画を作成し支援する。 3か年計画であったすべての障がい者への市町村別計画作成達成率が97.1%を示し県内でも3位であった。	営業時間	8:30～17:30																			
計画相談契約者数 182件 モニタリング報告数 360件	休日	日、祝日 12/29～1/3																			
	対象者	障がい者																			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																		
193	指定障がい児相談支援事業	継続	児童福祉法																		
(事業内容)		営業日	月～土																		
・障がいのある児童が適切にニーズに合った福祉サービスの利用ができるよう保護者の相談に応じながら、サービス利用計画を作成し支援する。3か年計画であったすべての障がい児への市町村別計画作成達成率が100%になったのが12月で県内で1位であった。	営業時間	8:30～17:30																			
計画相談契約者数 223件 モニタリング報告数 316件	休日	日、祝日 12/29～1/3																			
	対象者	障がい児																			

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
206	児童発達支援事業 (事業内容) 地域の中で、家庭的な環境の中で、様々な領域の遊びや基本的な生活習慣の指導を取り入れ、児童の発育を促すサポートを実施。個別支援計画に基づいた、一人一人への療育を実施した。 (実績者数) ・ 延べ利用者数 949人 ・ 開所日数 292日 ・ 平均利用者数(日) 3.3人 (登録者数) ・ 障がい種別 身体3人、知的5人、発達14人、診断無18人、計40人 ・ 年齢別 未満児9人、年少5人、年中16人、年長10人、計40人	継続	児童福祉法 営業日 月曜日～土曜日 営業時間 8:30～13:30 休日 日、祝日 12/29～1/3 対象者 障がい児 利用定員 5人
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
207	放課後等デイサービス (事業内容) 放課後や長期休暇中において地域の中で生活していくための生活能力向上の訓練や社会・地域との交流の場を提供している。曜日で訓練項目を分け、内容により外部講師やPT、STとの連携を図りつつ、個別支援計画に基づいた療育を実施した。 (実績者数) ・ 延べ利用者数 4,184人(4月～3月) ・ 開所日数 292日 ・ 平均利用者数(日) 14人 (登録者数) ・ 障がい種別 身体1人、知的25人、発達28人、診断無6人、重複(身体・知的)16人、重複(知的・発達)6人、計82人 ・ 年齢別 小学生56人、中学生15人、高校生11人、計82人	継続	児童福祉法 営業日 月曜日～土曜日 営業時間 平日:下校～17:00 休業日:9:00～ 休日 日、祝日 対象者 障がい児 利用定員 15人 (内重心身児5名)
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
201	日中一時支援事業 (事業内容) 合志市在住の障がいのある小・中・高校生・及び卒業後継続者の日中の一時預かりを行っている。また、対象児に重度心身障害児が多いことから看護師を配置し医療的ケアの体制も整えた。 (利用者数) ・障害者手帳等級別 1級14人、2級1人、3級1人、無52人 計68人 ・療育手帳等級別 A1 14人、A2 10人、 B1 7人、B2 17人、無20人、計68人 (活動実績) ・ 延べ利用者数 1,848人 ・ 開所日数 281日 ・ 平均利用者数(日) 7人 利用時間延べ回数	継続	地域生活支援事業 (合志市委託事業) 営業日 月曜日～土曜日 営業時間 9:00～17:00 休日 日、祝日、年末年始、長期休みの土 対象者 障害児 利用定員 平日8人 休日12人

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
180～189	合志市地域活動支援センター	継続	障がい者総合支援法 (合志市受託事業)
(事業内容)		営業日	火・水・金・土
合志市委託事業として障がいをお持ちの方々の余暇活動及び相談支援を実施。生産活動での完成品はユーパレス弁天で販売、地域住民への「れんがの家」活動の周知を行っている。また、ボランティアの育成を兼ね当事者による手話教室を定期的に開催している。		営業時間	9:00～16:00
(利用者数・活動実績)		対象者	障がい者 菊池圏域住民
・登録者数 94名			
・延べ利用者数 1548名(来所者 883名 その他利用者 665名)			
・創作的活動の機会の提供 実施回数 96件			
・生産的活動の機会の提供 実施回数 266件			
・一般相談:実施回数 40件			
・その他の支援:実施回数 85件			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
195	居宅介護(ホームヘルパー派遣)事業	継続	障がい者総合支援法
事業の内容、実績		営業日	月曜日から土曜日
障がいを持った方が住み慣れた環境で可能な限り自立した日常生活を営む事ができるように居宅介護における家事援助・身体介護・通院介助などのサービス提供を行った。平成24年度からの特定行為登録事業所指定による介護職員による医療行為が提供できる体制を継続した。		営業時間	8:30～17:30 (7:00～21:00対応)
(活動実績)		休日	日曜日 12/29～1/3
障がい区分別利用者数		対象者	合志市在住の 障がい者(児)
区分 1 2 3 4 5 6 児 合計			
H26年度 8 9 6 3 2 4 13 45人		利用定員	ヘルパー派遣可能 な人数
サービス提供時間			
年度 延べ利用者数 総利用時間			
H26年度 510人 7,883時間			
H25年度 443人 7,612時間			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
196	重度訪問介護事業		障がい者総合支援法
事業の内容、実績		営業日	月曜日から土曜日
重度の身体障がい・難病等の方の長時間体制での生活全般支援を行うためより高い技術・知識を必要とする。対象利用者の生活状況から早朝の支援や深夜支援などのニーズがあり、また他事業所との連携が必要なケースが多く通常の担当者会議のみならず生活の問題解決の為の検討会議にも参加した。今後支援が必要な時間帯への対応ができるよう体制を整備していく必要がある。		営業時間	8:30～17:30 (7:00～21:00対応)
(活動実績)		休日	日曜日 12/29～1/3
・区分別利用者数		対象者	合志市在住の 障がい者(児)
区分 1～4 5 6 合計			
H26年度 0 2 2 4人		利用定員	ヘルパー派遣可能 な人数
・サービス提供時間			
年度 総時間数 年度 総時間数			
H26年度 1855.0時間 H25年度 2043.0時間			

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
197	同行援護事業	継続	障がい者総合支援法												
事業の内容、実績		営業日 月曜日から土曜日 営業時間 8:30～17:30 (7:00～21:00対応) 休日 日曜日 対象者 合志市在住の障がい者(児) 利用員 ヘルパー派遣可能な人数	月曜日から土曜日 8:30～17:30 (7:00～21:00対応) 日曜日 12/29～1/3 合志市在住の障がい者(児) ヘルパー派遣可能な人数												
(活動実績)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録者数</th> <th>延べ利用者数</th> <th>総利用時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>3人</td> <td>32人</td> <td>444時間</td> </tr> <tr> <td>H25年度</td> <td>3人</td> <td>28人</td> <td>483時間</td> </tr> </tbody> </table>				年度	登録者数	延べ利用者数	総利用時間	H26年度	3人	32人	444時間	H25年度	3人	28人	483時間
年度	登録者数	延べ利用者数	総利用時間												
H26年度	3人	32人	444時間												
H25年度	3人	28人	483時間												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
198	移動支援事業	継続	地域生活支援事業(合志市委託事業)												
事業の内容、実績		営業日 月曜日から土曜日 営業時間 8:30～17:30 (7:00～21:00対応) 休日 休日の希望へ対応 対象者 合志市在住の障がい者(児) 利用員 ヘルパー派遣可能な人数	月曜日から土曜日 8:30～17:30 (7:00～21:00対応) 休日の希望へ対応 合志市在住の障がい者(児) ヘルパー派遣可能な人数												
(活動実績)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録者数</th> <th>延べ利用者数</th> <th>総利用時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>9人</td> <td>43人</td> <td>421時間</td> </tr> <tr> <td>H25年度</td> <td>4人</td> <td>26人</td> <td>238時間</td> </tr> </tbody> </table>				年度	登録者数	延べ利用者数	総利用時間数	H26年度	9人	43人	421時間	H25年度	4人	26人	238時間
年度	登録者数	延べ利用者数	総利用時間数												
H26年度	9人	43人	421時間												
H25年度	4人	26人	238時間												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
199	有償ヘルパーサービス事業	継続	独自事業												
事業の内容、実績		営業日 月曜日から土曜日 営業時間 8:30～17:30 (7:00～21:00対応) 休日 休日の希望へ対応 対象者 合志市在住の障がい者(児) 利用員 ヘルパー派遣可能な人数	月曜日から土曜日 8:30～17:30 (7:00～21:00対応) 休日の希望へ対応 合志市在住の障がい者(児) ヘルパー派遣可能な人数												
(活動実績)															
支援回数:7回 延べ支援時間:19.5時間															

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
33	視察研修事業 地域に開かれた障がい者支援センターづくりをめざし、視察や研修の受け入れを下記のとおり行った。「れんがの家」に興味・関心を持っていただけ希望が増加。 下半期には、新規事業所の視察・研修依頼が増加、地域貢献の目的で受け入れてきたが、給付管理などの事務的な指導を求められることも多く今後検討していく必要がある。 (大津町若草児童学園、太陽のこどもたち、ココロノ学校・熊本YMCA学院・熊本阿蘇清陵高校・オルタナ事業所など)	継続																															
	<table border="1"> <tr> <th>目的</th><th>件数</th><th>日数</th><th>人数</th><th></th></tr> <tr> <td>視察</td><td>6</td><td>7</td><td>17</td><td>他事業所</td></tr> <tr> <td>見学</td><td>10</td><td>14</td><td>20</td><td>保育園・学校関係</td></tr> <tr> <td>実習</td><td>2</td><td>11</td><td>5</td><td>職場体験(菊池支援学校他)</td></tr> <tr> <td>交流</td><td>2</td><td>2</td><td>33</td><td>地域の小学校</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>20</td><td>34</td><td>75</td><td></td></tr> </table>	目的	件数	日数	人数		視察	6	7	17	他事業所	見学	10	14	20	保育園・学校関係	実習	2	11	5	職場体験(菊池支援学校他)	交流	2	2	33	地域の小学校	合計	20	34	75			
目的	件数	日数	人数																														
視察	6	7	17	他事業所																													
見学	10	14	20	保育園・学校関係																													
実習	2	11	5	職場体験(菊池支援学校他)																													
交流	2	2	33	地域の小学校																													
合計	20	34	75																														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
200	介護職員初任者研修事業 (事業内容) 事業は次の4つを目的として実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度、障害者総合支援法の改正中で多種多様化する介護へのニーズに合った支援サービスが提供できる介護員の養成。 ・社協理念である地域とのつながりを重視した介護サービスを提供できる介護員の養成。 ・必要な知識・技術を有する介護職員を養成する。 ・地域の介護従事者の確保及び家庭介護力の向上。 講義においての講師は、資格該当の社協職員がすべて対応。講師となることで職員自身も「介護の基本」を振り返ると同時に自分自身の自己研鑽にもつながった。 (実績) 受講者数:12名(内、3名が職員として登録)	継続																															
	<table border="1"> <tr> <th>実施日</th><td>平成26年5月7日～平成26年7月22日</td></tr> <tr> <th>講習時間</th><td>159.5時間</td></tr> <tr> <th>対象者</th><td>高齢者・障がい者福祉に興味があり介護職員として従業希望者</td></tr> <tr> <th>定員</th><td>20名</td></tr> <tr> <th>受講料</th><td>50,000円</td></tr> </table>	実施日	平成26年5月7日～平成26年7月22日	講習時間	159.5時間	対象者	高齢者・障がい者福祉に興味があり介護職員として従業希望者	定員	20名	受講料	50,000円																						
実施日	平成26年5月7日～平成26年7月22日																																
講習時間	159.5時間																																
対象者	高齢者・障がい者福祉に興味があり介護職員として従業希望者																																
定員	20名																																
受講料	50,000円																																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
86	「れんがの家」結び愛事業・広がれホワイトエンジェル (平成26年度共生くまもとづくり補助事業)	新規	熊本県補助事業																														
	<table border="1"> <tr> <th>開催日</th><td>①平成26年10月18日 ②平成26年12月13日 ③平成27年1月18日</td></tr> <tr> <th>開催時間</th><td>① 9:00～12:30 ② 13:30～15:30 ③ 11:00～12:00</td></tr> <tr> <th>対象者</th><td>障がい者(児)とその家族及び地域住民</td></tr> </table>	開催日	①平成26年10月18日 ②平成26年12月13日 ③平成27年1月18日	開催時間	① 9:00～12:30 ② 13:30～15:30 ③ 11:00～12:00	対象者	障がい者(児)とその家族及び地域住民																										
開催日	①平成26年10月18日 ②平成26年12月13日 ③平成27年1月18日																																
開催時間	① 9:00～12:30 ② 13:30～15:30 ③ 11:00～12:00																																
対象者	障がい者(児)とその家族及び地域住民																																
	<p>(事業の内容、実績) 障がいをもつ当事者や家族を理解し支援できるサポーターを育成する。地域での生活課題を地域住民に広く周知し理解していただくことで、障がいをもつ当事者や家族が「地域生活者」として夢や力を持ち続けるための地域づくり事業を実施。</p> <p>① ホワイトエンジェルサポーター養成講座…参加者:23名 講師4名 ② 障がい者の集い…参加者37名 発表者7名 ③ れんがフアッショショ…モデル参加者19名 来場者推定170名 ホワイトエンジェルサポーター6名 協力校・業者8ヵ所</p> <p>ホワイトエンジェルサポーターとして、約80名の登録者へサポータの証である「れんがリング」を配布し意識づけを高めた。新聞・テレビなどからの取材も多く地域住民への障がい者(児)への理解を深めることができた。</p>																																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
189	広報(バトン・れんがの家だより)	継続	その他の事業
事業の内容・実績			
ほっとラインにおいて1ページのれんが便りを掲載しているが、れんがのいえ利用者のための情報提供・事業の周知・啓発のためにれんがの家独自の広報誌を発行、利用者とその家族・関係機関へ配布およびホームページへ掲載している。			
「バトン」…「れんがの家」全体の広報誌			
内容:障がい者支援センター内の事業・活動内容報告・お知らせ等			
配布対象:「れんがの家」ご利用者及び関係機関			
発行頻度:年4回(5・8・11・2月)			
「れんがの家だより」…児童発達支援事業・放課後等デイサービス・日中一時支援事業の広報誌			
内容:児童通所事業の活動内容・お知らせ等			
配布対象:児童発達支援事業・放課後等デイサービス・日中一時支援事業ご利用者家族			
発行頻度:月1回			

職員数は平成27年1月1日現在

担当課	職員数	常勤	非常勤	合計
このみ坂保育園		20 人	6 人	26 人

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

施設の運営・経理管理について

管理規定や運営方針、経理管理や職員体制(規定の職員配置)などについては、毎年の監査等でも問題なく基礎的なものは整備できた。研修については園内や外部の専門的研修に積極的に参加しキャリアアップに努めた。

保育内容

- 本会及びこのみ坂保育園の基本理念を中心とした保育方針のもと、保育課程を編成し理念に基づく各年齢別の年間の指導計画、毎月の指導計画週案など立案し、毎日保育について、評価・反省の記録を通して保育士が連携し、個人の記録などを踏まえて一人一人を大切にする保育を行なった。
- 具体的には、異年齢保育の実施・交流事業の企画実施・地域ボランティア(男の井戸端サロン)との交流事業、敬老行事の参加等多くの異世代・異文化・地域交流事業に取り組みヒューワマニズムを育む保育へのアプローチを実施した。
- 障がい児保育では、個々に応じて可能な限り支援できる方向を保護者へ示し、専門機関につなげる必要性について根気強くアプローチをして理解を求めた。
- 「つどいの広場」は利用料がかかる場所であっても安定した利用状況があり、家庭で子育てをしている方が「孤育て」にならないように地域子育支援事業としての役割りを果たした。
- 延長保育(20時)、休日保育、一時保育は、他園では実施出来ない保育を行うことで社協の保育園としてこれからの保育事業(多様な支援)が求められる実績を残した。
- 健康管理では、看護師が中心となりケガや病気の対応などに対して適切な支援を行ない保護者に対して必要な情報や相談に応じた。
- 給食の実施については、食事内容など給食室と保育士が連携を図ることで食べることが大好きになった。毎日の食事サンプルの展示や、保護者の給食体験などで喜んで食べる子どもの状況を目にして保護者も「食育」への関心を高めた。
- 農園活動や絵本の読み聞かせ等情操保育やボランティアが園児との協働の活動を行い散歩などでは高齢者や地域の方との挨拶やふれあいを子ども自身が体得し喜び楽しみにすることができた。

2 業務を推進していく場合の課題

- 社協職員である保育士として、そして地域保育所の保育士として仕事への使命を自覚する。
社協の運営する保育園で、地域づくりや人づくりの根幹となる大切な使命を持った仕事に従事していることの喜びや意義を知り誇りを持つ。(保育効果の向上)
- 保育はチーム支援であるとの自覚を持つために同僚の性格や能力を受け入れお互いに働きやすい職場にすることで保育内容の向上を目指す。職員間の連携を強化するために、お互いにどのように考えているのか、感じているのか、仕事や保育観などについて話が出来るような場を作りお互いの考え方の違いに気づいたうえで組織、チームとして協力し仕事に取り組む。(保育の質の向上)

3 今後の方向性

- 母体である合志市社会福祉協議会とこのみ坂保育園の理念を基本にした、運営方針と保育活動を展開していく。そのための方法の一つとしての異年齢保育について保護者が理解を深めることができるように、人との関係づくりの大切さ、思いやりや優しさが育つことを目的とした保育内容を保育参観や園便り等様々な手段で発信する。(家庭と保育園相互の理解と連携の強化)
- 職員が、社会福祉協議会が運営する地域保育拠点である「このみ坂保育園」であることを理解し、保育園に通う子どもだけでなく子育て支援と保育をグローバルに捉え、福祉従事者として積極的に地域保育の場面にも関わるように努める。(子どもに関する社会的な情勢の変化にともなう、社会問題について理解し、必要な保育を求められるものについて考えられるように園内研修や園外研修の機会を拡大する)
- 様々な交流を(異世代 異文化 地域)意図的に取り組むことで保育理念を達成する。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
64	通常保育事業 (異年齢保育・障がい児保育・体力、食育推進)	継続	その他の事業
	保育理念「人を思い、人を育て、ヒューマニズムを育む保育園」を掲げ、保育課程に則り、年齢発達に応じた保育計画をたて、その中において異世代交流、地域交流や体験活動などを多く取り入れた保育を行った。入所児童数(定員90名)4月入所97名～園児総数104名を受けられた。 ・異年齢保育では3.4.5歳児が一緒に生活や活動をすることにより、多様な人間関係の中で人との関わりあう力「思いやり」の心を育むことを目的とする。 ・障がい児保育は、加配保育士を2名配置し、特別支援を必要とされる児童については支援計画の調整等コーディネーターを行う職員を設置した。 ・体力・食育推進について、保育士の関わりだけでなく外部指導や、地域のボランティアと協働して年間を通して活動した。	事 業 費 実 施 日 時 実 施 場 所 対 象 者 人 数	94,981千円 H26年4月1日～ H27年3月31日 このみ坂保育園 0歳児～5歳児 園児総数104名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
65	特別保育事業 (延長保育・一時保育・休日保育)	継続	その他の事業
	・延長保育事業 多様な就労形態に対応するため、通常保育を延長して月曜日～土曜日、18時～20時まで保育を行った。年間利用総数2,432名である。 ・休日保育 市内認可保育園に通う児童を対象に、保護者が日曜祝日勤務により保育に欠ける場合に実施した。毎回職員2名配置をしていたが、実施開所日28日 延べ利用者は56名である。(他園児4名) ・一時保育(自主事業) 子育て支援である、児童の健全育成、保護者支援等福祉の増進を図ることを目的に自主事業として実施したが、職員不足のため4月～8月までの開催となつた。開設日81日 延べ利用者は149名である。	事 業 費 実 施 日 時 実 施 場 所 対 象 者 人 数	6,154千円 H26年4月1日～ H27年3月31日 このみ坂保育園 このみ坂保育園児 及び合志市内対象児 2,637名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
66	地域子育て拠点事業(ひろば型)	継続	合志市受託事業
	子育て家庭の親の孤立、負担感の緩和を図り、安心して子育てができる居場所を提供し、保育園内で開催することで地域に密着した児童福祉施設としての役割りを担う。(子育て親子の交流、ピアカウンセリング、情報の提供、子どもの発達相談、援助) 開催日 月～金曜日 10時～15時 利用料 100円 H26年度参加状況 開催日 252日 (行事企画回数45回 参加者 739名) 新規来園者 133組 利用者 乳幼児1543名 保護者1239名 他23名 総数2,805名	事 業 費 実 施 日 時 実 施 場 所 対 象 者 人 数	4,093千円 H26年4月1日～ H27年3月31日 このみ坂保育園 専用保育室 家庭内保育を行つ ている親子 参加総数2,805名

福祉訓

- 一、一生人間、一生福祉。
- 一、声なき声が聽こえる時、信頼の道標となりやう。
- 一、可能性があるから人間であり、
僅かな成長に心が歸るのも人間である。
- 一、良いことは自分の心に正直である事であり、
悪いことは他人の心と競む事である。
- 一、感じて動く心これが行動力なり。
- すなあち感性の証なり。
- 一、だからこのでは無い、何哉できなかと
考え越えてじへんとも福祉である。
- 一、理想は福祉の糧をなす。
- 現実が福祉の試練でもあり室でもある。
- 一、必要なものは教ではない、實である。
- 一、人間の事がから人間である私に解決できるのである。
- 一、福祉は他人の為ならず、自分の為ならう。

安心創造ネットワーク

社会福祉法人 合志市社会福祉協議会

日本 所 保健福祉センターふれあい館
〒861-1102 熊本県合志市須屋2251番地1

TEL 096-242-7000
FAX 096-242-6635

ホームページ <http://www.koshi-shakyo.or.jp>